

1993年10月25日 発行

ISSN 0917-5695

埼玉昆虫談話会

寄せ蛾記

Y O S E G A K I

69号

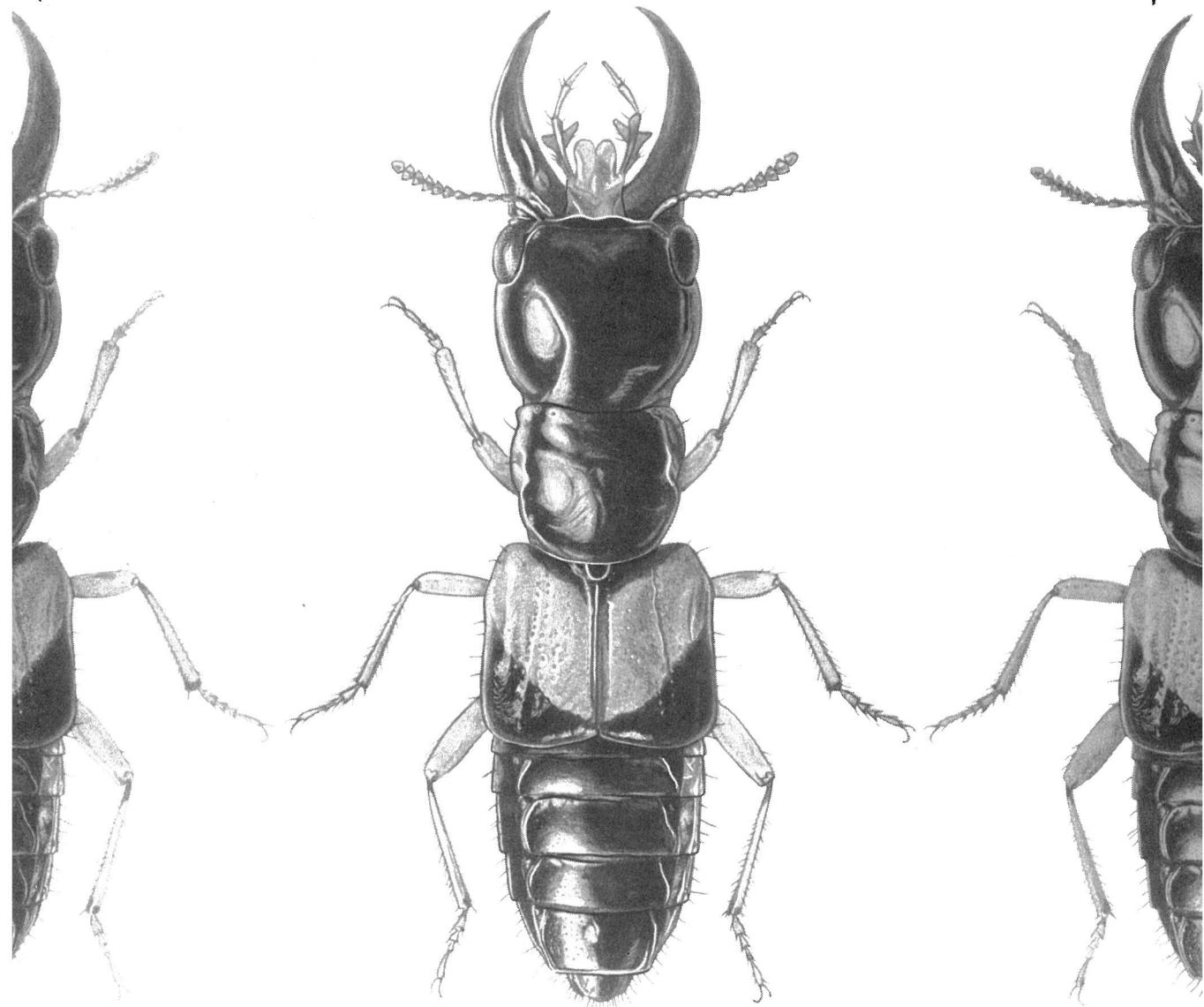


表 紙

オオズオオキバハネカクシ *Oxyporus parcus* SHARP, 1889

原 画：小 田 博

デザイン：小 堀 文 彦

お別れの言葉

牧林功

こんなに早くお別れの言葉を申し上げるなど、夢にも思いませんでした。

虫好きの集まりは基盤が脆弱なものですから、戦国時代の国のように、興亡めまぐるしいものがあります。そんな中で、市川和夫先生の創設された埼玉昆虫談話会は、どこにもかくにも30年が経過しました。今や会員200人を越す堂々たる老舗であります。全国に数ある昆虫同好会のなかでも十指に入るといえるでしょう。これはひとえに先生のお人柄、御人徳の成せるところであると信じます。

埼玉昆虫談話会は、単なる好事家の集まりではありません。所沢市三ヶ島の昆虫調査を皮切りに、北本市石戸宿、見沼たんぼの昆虫調査など、社会的にも価値ある仕事に取り組みました。これも先生のお考えによるものでした。常に時代を先取りする深い洞察力と、人を掌握する統率力、何よりも強い実行力を備えていたから、可能であったのです。

『県の蝶』に対する思い入れも、先生の御意志でした。生涯の多くの時間を蛾の研究に費やされた先生でしたが、その道に入るきっかけは、やはり蝶でした。美しい蝶への思い入れが『県の花、県の木、県の鳥があるのだから、県の蝶があってもいいのではないか』という発想になったのです。そして埼玉県の蝶として取り上げるのなら、ミドリシジミをおいて他にない——緑豊かな秋ヶ瀬のハンノキ林で、初夏の夕刻、きらきらと翅を輝かせて飛ぶミドリシジミ——が先生の脳裏にありました。この蝶が県の蝶に指定されれば、全国屈指の秋ヶ瀬のハンノキ林もまた、開発の手から守ることができるという願いもあったのです。幸いにして、県政120周年を記念して、県の蝶ミドリシジミが誕生しました。日本で最初の出来事であります。

埼玉県立養護教員養成所を最後に、教職からお離れになった先生は、好きな虫三昧に浸りながらも、各地から委託された調査研究に御多忙であります。輪禍にあわれた夜は、折からNHK教育テレビで、埼玉昆虫談話会は名古屋昆虫俱楽部と“ファイト”の最中でした。多くの会員はテレビの前で楽しんでいたに違いありません。そういう虫好きの賑やかな雰囲気のなかへ入りたいと、心せかれるものがあったのかも知れません。

私達は先生から、まだまだ多くのことを教えていただきねばならなかったのですが、非常に残念であります。私達が先生にお報いするのは、先生が目指されていたものを継承し、この県の昆虫相を明らかにしていくこと、その学術的土台に立って、生物的多様性をいつまでも保ち続ける努力をすることだと信じます。私達は微力ながらも、その御遺志をつぐ覺悟であります。いつまでも見守っていてほしいと思います。

たいへん珍しいキシタアシブトクチバガ、この夏、県民の森で採れました。事故にあわれた時刻、このニュースは読売新聞で印刷されていました。蛾に取り組まれた先生にとって、ふさわしい餌になることでしょう。どうか安らかにお休みください。

お通夜では、柩のまわりをホタルガが舞っていました。おわかりになったでしょうか。

平成5年9月21日

・・・・・

埼玉県蜻蛉目調査(1)

— 1993年8月までの途中報告 —

松崎 雄一

・・・・・

筆者はこれまで埼玉県内各地でトンボ相の調査をおこなってきたが、その内、昨年から今年の夏にかけての調査の結果をここにまとめておく。

- ・調査期間 1992年4月～1993年8月
- ・調査地 県西部を主体とした県内各地
- ・確認種 63種(1993年8月13日現在)
- ・記録について

各種とも筆者が調査地で観察し、確実にその種であると確信できたものについて記録している。筆者は、種の同定のために観察個体をネットインすることはあるものの、特別な場合を除いて標本製作は一切行ってないので、各種とも出来るだけ写真、ビデオ撮影するように心掛けている(採集後保管はしていない)。

- ・以下の観察データの表示について

観察地：観察個体数、観察日

観察地に関しては同所の記録は“；”で繋げ、いちいち同じ地名は表記していない。

観察個体数に関しては、観察記録のほとんどが()でくくられているのは、採集記録でないことを示しており、記録に◎印がついているのは、写真撮影をしたことを表わしている。個体数に関しては、観察した個体が少い場合は全ての個体を記録し、“多数”は、大体10頭以上、“数頭”は5～10頭程度を目安にしている。観察個体数の記録が手元に残されていない場合は、“?”と記してある。なお、以下の記録のうち、採集したのはオゼイトトンボの1記録のみである。また、記録者は、すべて筆者である。

[イトトンボ科]

1. モートンイトトンボ

横瀬町宇根百一たんぼ：(♂♀多数○)，1992.6.27；(同所では、同年7月9日、20日、1993年7月15日にも確認)。皆野町国神：(♂♀数頭○)，1993.7.29.

主に6～7月、休耕田等の湿地に見出されたが、発見地は山間寄りに限られた。産地では少なくない。

2. キイトトンボ

皆野町国神：(♂♀数頭○)，1992.9.10；(1♀○)，1993.6.4；(♂♀多数)，1993.8.12.

主に夏季、池沼に見られるが、ここ2、3年激減し、各地で見られなくなった。70~80年前半に比較的確実に見られた、羽生市三田谷、横瀬町赤穂木池でも見られなかった。

3. ベニイトトンボ

北本市蓮沼：(1♂○), 1993. 7. 31.

最近は見るのが難しい一種である。

4. アジアイトンボ

皆野町大塚池：(♂♀多数○), 1992. 4. 28. 皆野町国神：(1♂), 1993. 7. 29. 嵐山町都幾川：(1♀○), 1992. 6. 3. 妻沼町中江袋：(1♂), 1992. 7. 21. 羽生市三田ヶ谷：(♂♀多数○), 1992. 7. 21. 蓼田市黒浜沼：(♂♀多数○), 1992. 8. 6. 岩槻市赤坂沼：(♂♀多数○), 1992. 8. 6. 毛呂山町大谷木(水田)：(♂♀数頭○), 1992. 8. 7. 東松山市高坂：(1♀○), 1992. 8. 23. 桶川市川田谷：(♂♀数頭), 1992. 9. 13. 北本市蓮沼：(1♂), 1993. 7. 31. 鳩山町熊井：(4♂), 1992. 10. 7; (1♂), 1993. 8. 12.

各地に比較的普通。台風通過後の水溜まり等にもよく見られる。

5. アオモンイトトンボ

蓮田市黒浜沼：(1♂○), 1992. 8. 6.

県内では少ない。

6. クロイトトンボ

皆野町国神：(1♂), 1992. 9. 23; (1♂), 1993. 5. 17. 横瀬町赤穂木池：(♂♀数頭○), 1992. 5. 22. 横瀬町赤穂木：(♂♀多数○), 1992. 6. 21. 皆野町大塚池：(♂♀多数○), 1992. 6. 21. 越生町大龜沼：(1♂○), 1992. 6. 12. 鳩山町熊井：(♂♀数頭), 1993. 5. 20. 東松山市上唐子：(♂♀数頭), 1993. 5. 20. 嵐山町楓川：(♂♀数頭), 1993. 6. 28. 北本市蓮沼：(♂♀多数), 1993. 7. 31. 桶川市川田谷：(♂♀多数), 1992. 8. 29. 羽生市三田ヶ谷：(♂♀多数), 1992. 7. 21. 岩槻市赤坂沼：(♂♀多数), 1992. 8. 6.

イトトンボ中最普通種。5~9月、池沼で見るイトトンボはたいてい本種である。

7. オオイトトンボ

横瀬町赤穂木：(♂♀数頭○), 1992. 6. 3. 横瀬町宇根：(♂♀多数○), 1992. 7. 9. 羽生市三田ヶ谷：(♂♀数頭), 1992. 7. 21. 皆野町大塚池：(♂♀数頭○), 1992. 6. 3. 横瀬町姿之池：(1♂), 1992. 8. 30. 皆野町国神：(2♂1♀), 1992. 9. 23; (♂♀数頭), 1993. 5. 7. 越生町大龜沼：(♂♀数頭), 1992. 8. 7; (♂♀数頭), 1993. 8. 12. 毛呂山町大谷木：(♂♀数頭), 1992. 8. 7. 鳩山町熊井：(1♂), 1993. 8. 12. 嵐山町楓川：(1♂), 1993. 5. 11. 東松山市高坂：(1♂), 1992. 8. 23. 東松山市上唐子：(1♀), 1993. 6. 28. 北本市蓮沼：(2♂), 1993. 7. 31. 蓼田市赤坂沼：(♂♀数頭), 1992. 8. 6.

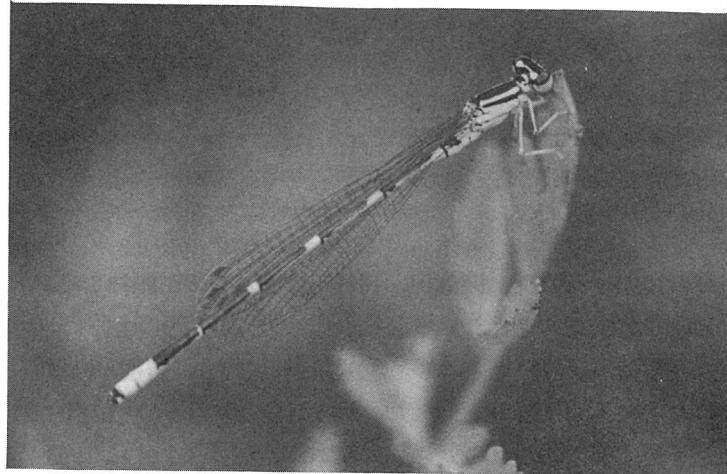
各地で見られるが、クロイトトンボより個体数が少ないことが多い。

近似種のセスジイトトンボは、10年前には、荒川畔(熊谷市)、都幾川(高坂)等で見られたが、最近見かけなくなった。

8. オゼイトトンボ

皆野町国神: 1♂○,
1993. 6. 4; (1♂○),
1993. 6. 11.

従来、県内では未記録。皆野町の山麓の池で偶然発見した。6月4日の個体は、新井裕氏方に寄贈した。池(地元では“一星池”と呼ばれている)の岸辺と池下の湿地にて見られた。



オゼイトトンボ ♂. 1993. 6. 11. 皆野町国神 筆者撮影

〔モノサシトンボ科〕

9. モノサシトンボ

横瀬町赤穂木池: (1♂), 1992. 6. 21. 皆野町大塚池: (♂♀多数○), 1992. 6. 3. 秩父市太田: (♂♀数頭), 1992. 7. 20. 皆野町国神: (1♀○), 1992. 9. 23; (♂♀多数), 1993. 8. 12. 嵐山町楓川: (♂♀多数○), 1993. 6. 28. 北本市蓮沼: (♂♀数頭), 1993. 7. 31.

山間部では、溜池や溪流に極普通。鳩山、越生あたりでは不思議と見かけなかった。

10. オオモノサシトンボ

羽生市三田ヶ谷: (♂♀多数○), 1992. 7. 21.

1982年同所を訪れた時は、見かけなかったのが不思議である。

〔アオイトトンボ科〕

11. オツネントンボ

皆野町国神: (1♀○), 1992. 10. 22.

県内ではあまり見書けない。同所でも翌4~6月見られなかった。

12. ホソミオツネントンボ

皆野町大塚池: (1♂ 1♀○), 1992. 6. 3. 皆野町国神: (1♂○), 1992. 10. 22; (1♀○), 1993. 5. 21. 横瀬町赤穂木池: (♂♀多数), 1993. 6. 1. 越生町大龜池: (1♂○), 1992. 5. 21. 毛呂山町大谷木: (1♀○), 1992. 21.

オツネントンボより多い。赤穂木池では比較的多産し、他の地点でも2回以上観察している。

13. アオイトトンボ

鳩山町笛山沼: (1♂○), 1992. 9. 24.

県内では少ない。オオアオイトンボによく似るが、眼がより青く、♂が白粉を帯び、腹部がやや太短い感じがする。

14. オオアオイトンボ

秩父市太田：（1♀），1993. 7. 29. 横瀬町赤穂木：（1♂◎），1992. 6. 21. 皆野町国神：（♂♀数頭◎），1992. 10. 22. 越生町大龜池：（1♂），1992. 9. 20. 鳩山町篠山沼：（2♂），1992. 9. 20. 東松山市上唐子：（1♀◎），1992. 7. 9. 嵐山町楓川：（♂♀多数◎），1993. 6. 28.

羽化期を過ぎて、盛夏の頃は生息地で殆ど見かけないが、秋もたけなわとなる頃、水辺に多数が飛来する。

〔カワトンボ科〕

15. ハグロトンボ

秩父市太田：（♂♀多数），1993. 7. 29. 横瀬町姿之池：（♂♀多数◎），1992. 8. 30. 嵐山町楓川・菅谷館跡：（♂♀多数◎），1993. 6. 28. 東松山市高坂：（♂♀数頭◎），1992. 8. 23. 東松山市上唐子：（♂♀数頭），1992. 9. 6.

平地の用水路等から姿を消しつつある。この2年、気候のせいか出現期がややおくれている。

16. アオハダトンボ

嵐山町楓川：（♂♀多数◎），1992. 6. 4；（1♀），1993. 6. 28. 東松山市上唐子：（1♂1♀◎），1992. 6. 16；（1♂◎），1993. 5. 13.

嵐山町では1982年6月5日には見られなかった。上記2箇所では、6月を中心に比較的多く見られる。

17. ミヤマカワトンボ

秩父市定峰川、七重川：（♂♀多数），1992. 6. 3. 皆野町国神：（1♀），1993. 5. 28；（1♂），1993. 6. 11. 皆野町三沢川：（♂♀数頭），1993. 6. 1. 横瀬町赤穂木池：（1♂），1993. 6. 1. 寄居町折原：（1♂2♀），1993. 7. 11. 毛呂山町大谷木川：（1♂◎），1993. 5. 15.

溪流付近に5～6月に多い。

18. カワトンボ（ヒガシカワトンボ）

秩父市定峰川、七重川：（♂♀多数、♂は橙色型も含む。◎），1992. 6. 3. 横瀬町宇根：（1♂1♀，♂は橙色型も含む。），1992. 6. 27. 横瀬町赤穂木池：（2♂、橙色型も含む。），1993. 6. 1. 皆野町国神：（♂♀数頭、♂は橙色型も含む。◎），1993. 7. 15. 皆野町三沢川：（1♂），1993. 6. 1. 越生町大龜池：（♂♀数頭），1993. 5. 4. 小川町小瀬田沼：（1ex.），1992. 5. 12. 嵐山町菅谷館跡：（1ex.），1992. 6. 3. 鳩山町熊井：（1♀），1993. 4. 26. 寄居町末野：（♂♀多数、♂は橙色型も含む。），1993. 5. 21. 毛呂山町大谷木川：（♂♀数頭、♂は橙色型も含む。◎），1993. 5. 15. 所沢市狭山湖：（2♂），1993. 5. 25.

丘陵地の溜池から流れる小川や溪流に、5、6月に多い。寄居町末野付近では♂の大半が橙色型であった。

〔ムカシヤンマ科〕

19. ムカシヤンマ

所沢市狭山湖：（1♂1♀○），1993. 5. 25.

湖畔の山道や山林内の湿土上に見られる。

〔サナエトンボ科〕

20. ミヤマサナエ

東松山市上唐子：（2羽化殻○），1992. 7. 9；（1♀○），1992. 9. 6；（1羽化殻○），1993. 6. 28.

かつては、河川中流域で最も多く見られたが、近年激減。都幾川では得られる羽化殻も少ない。

21. ヤマサナエ

越生町大亀池：（1♀），1992. 5. 21. 毛呂山町大谷木川：（1♂），1992. 6. 12. 東松山市上唐子：（1♂○），1992. 6. 16；（1ex. ○, 羽化殻回収），1993. 5. 6. 所沢市狭山湖：（♂♀数頭），1993. 5. 25.

比較的広い範囲で見られたが、狭山湖を除いて少ない。

22. ホンサナエ

東松山市上唐子：（3♂○），1993. 5. 20；（1♂○），1992. 5. 27.

最近では希少種となったトンボ。5月頃出るので目にとまりにくい。5月20日前後に流畔に戻り繩張りをもつ。

23. コサナエ

横瀬町赤穂木池：（♂♀数頭○），1992. 5. 22. 皆野町国神：（2♂），1993. 7. 11. 皆野町大塚池：（♂♀数頭○），1992. 5. 22. 越生町大亀池：（♂♀多数○），1992. 5. 12. 鳩山町熊井：（2ex. ○），1993. 4. 23. 小川町小瀬田沼：（1ex.），1992. 5. 12. 東松山市上唐子：（1♂○），1993. 4. 26.

河川敷、溜池等広範に分布し、5月頃多く見られる。国神ではかなり多産する、大亀沼は1992年9月の干魃のためか1993年は殆ど見られなかった。

24. ダビドサナエ

皆野町三沢川：（1♂），1993. 6. 1. 毛呂山町大谷木川：（1♀○），1992. 6. 12. 玉川村明覚付近：（1♂○），1993. 5. 11. 嵐山町楓川：（1♀），1993. 5. 11. 東松山市上唐子：（1♀○），1993. 4. 23；（羽化殻1），1993. 5. 21.

毛呂山町では、5月中旬に♂の繩張りが多数見られる。他では、個体数が少ない。

25. オジロサナエ

横瀬町赤穂木池：（1♀○），1992. 9. 9. 嵐山町楓川：（♂♀数頭○），1992. 6. 4；（羽化殻1○），1993. 6. 28.

県内では比較的広く分布しているらしい。

26. アオサナエ

東松山市上唐子：(1♂○), 1992. 6. 4; (1♀○, 羽化不全), 1993. 5. 6. 東松山市高坂：(2♂1♀○, 産卵), 1993. 5. 27.

10年ほど前（たとえば1982. 6. 5）には嵐山町楓川で多数の♂が見られたが、ここ2年は全く見ていない。

27. オナガサナエ

東松山市上唐子：(羽化殻1○), 1992. 6. 16; (1♂○, 羽化殻3), 1993. 6. 28.
近年減ってしまった種。

28. コオニヤンマ

皆野町国神：(1♂○), 1992. 9. 10. 玉川村明覚付近：(1♂○), 1992. 8. 23. 東松山市上唐子：(1♂○), 1992. 6. 16. 嵐山町楓川：(♂♀数頭○), 1993. 6. 28. 毛呂山町大谷木川：(3♂), 1992. 8. 7. 北本市石戸宿：(2♂○), 1992. 6. 16.

河川や溪流に普通に見られる。

29. ウチワヤンマ

鳩山町熊井：(3♂○), 1992. 9. 24; (♂♀多数○, 交尾3例), 1993. 8. 12. 吉見町八丁湖：(1♀○, 産卵), 1992. 9. 6. 羽生市三田ヶ谷：(1♂○), 1992. 7. 21. 蓼田市上沼：(1♂), 1992. 8. 6. 北本市蓮沼：(1♀), 1993. 7. 31.

オオヤマトンボと共に見いだされることが多い。鳩山町ではかなり多くの個体を見ることが出来る。

〔オニヤンマ科〕

30. オニヤンマ

秩父市太田：(数頭○), 1992. 7. 20. 横瀬町赤穂木池：(2♂), 1992. 8. 30. 横瀬町宇根：(数頭), 1992. 8. 30. 皆野町国神：(1♂), 1992. 10. 3. 寄居町末野：(♂♀多数), 1992. 9. 10. 越生町大龜池：(数頭), 1992. 9. 20. 鳩山町笛山沼・大沼：(数頭), 1992. 9. 20. 小川町小瀬田沼：(数頭), 1992. 8. 23. 吉見町八丁湖：(2♂), 1992. 9. 6. 飯能市天覧山：(数頭), 1992. 8. 24. 所沢市狭山湖：(数頭), 1992. 8. 24.

山間、丘陵地にまんべんなく見られる。

〔ヤンマ科〕

31. サラサヤンマ

越生町大谷（大龜池）：(2♂○), 1992. 6. 2.

休耕田が増えた為か、近年各地で見られるようになった。同所では1993年5月27日にも本種と思われる1♂を目撲したが、未確認。

32. ミルンヤンマ

横瀬町赤穂木池：（♂♀数頭○），1992. 9. 21. 皆野町国神：（1♂○），1993. 8. 12.

山間の渓流，小川に普通。益過ぎより秋にかけて多く，日没後に盛んに活動する。

33. ネアカヨシャンマ

吉見町八丁湖：（1♂○），1992. 9. 6. 北本市石戸宿：（♂♀数頭，ビデオ撮影），1993. 7. 31.

東松山～吉見～北本の沼地に点在して生息しているらしい。黄昏飛行性が強く，高めの上空を飛翔する。

34. ヤブヤンマ

皆野町国神：（1♀○），1993. 7. 29.

丘陵地，山地の小規模な池沼，湿地によく見られる。夕刻盛んに活動する。

35. カトリヤンマ

皆野町国神：（1♀○），1992. 9. 9；（♂♀多数○），1993. 8. 12.

かつては平野部でも多く見られたが近年激減。8月より羽化し，日没後暗くなりかけてから，どこからともなく無数の個体が飛来し空地を群れ飛ぶ。

36. ルリボシヤンマ

皆野町国神：（1♂，1羽化殻○），1993. 8. 12.

山間の小池によく見られ，8月より9月半ばにかけて出現する。♂は，小さな池を訪れるとホバリングを交え，かなり気ぜわしげに飛翔する。

37. オオルリボシヤンマ

横瀬町赤穂木池：（1♂○），1992. 8. 30. 皆野町国神：（2♂1♀），1992. 9. 10.

ルリボシヤンマと割りとはっきりと棲み分けている。前種が，水田や小さな池を飛翔するのに対し，本種は比較的広い池を雄大に飛翔し，♀もそのようなところで産卵する。皆野町では，♀の産卵を数回観察した（1992. 9月）。♀には，♂のように青味の強い個体と，緑色の個体がある。

38. マルタンヤンマ

皆野町大塚池：（羽化殻2○），1992. 6. 21. 皆野町国神：（1♀，産卵），1992. 9. 12；皆野町国神：（1♀，産卵），1993. 8. 12. 北本市石戸宿：（1♂1♀），1993. 7. 31.

比較的広範囲に見られるが，黄昏活動が強く，♂はなぜか余り姿を見せない。

39. ギンヤンマ

皆野町国神：（1♂1♀），1992. 10. 3；（1♀○），1993. 5. 17. 横瀬町赤穂木池：（2♂），1992. 8. 30. 皆野町大塚池：（1♂），1992. 9. 9. 小川町小瀬田沼：（1♂），1992. 8. 23. 鳩山町笹山沼：（1♀），1992. 9. 24. 北本市石戸宿：（1♂○），1992. 7. 21. 北本市蓮沼：（♂♀数頭），1993. 7. 31. 桶川市川田谷：（1♂1♀○），1992. 9. 13. 岩槻市赤坂沼：（1♂○），1992. 8. 6.

活動性が強く，比較的各地で見られ，皆野，桶川，北本では個体数も多かった。

40. クロスジギンヤンマ

横瀬町宇根：(1♂⑦), 1992. 6. 27. 横瀬町赤穂木池：(2♂), 1993. 6. 1. 皆野町国神：(1♂), 1992. 9. 12; (1♀), 1993. 7. 29. 皆野町大塚池：(?), 1992. 6. 3. 皆野町三沢川：(1♂), 1993. 6. 1. 寄居町牟礼：(1♂), 1992. 5. 12. 寄居町末野：(1♂), 1993. 5. 7. 越生町大龜池：(数頭), 1992. 6. 2.

広く分布するが、あまり多くない。

〔エゾトンボ科〕

41. タカネトンボ

皆野町国神：(1♂⑦), 1992. 9. 21. 越生町大龜池：(1♂), 1992. 9. 20. 鳩山町笹山沼：(1♂), 1992. 9. 24.

丘陵地の池に産するが少ない。

42. コヤマトンボ

東松山市上唐子：(1♂⑦), 1993. 5. 21.

河川で5~6月に見られるが多くない。目撃した例は他にもある（例えば毛呂山町など）が、本種かどうか確認していない。

43. オオヤマトンボ

秩父市太田：(1♂), 1993. 7. 29. 横瀬町赤穂木池：(1♂), 1993. 6. 1. 皆野町国神：(2♂), 1993. 6. 1. 鳩山町熊井：(3♂⑦), 1992. 9. 24; (1♂), 1993. 8. 12. 吉見町八丁湖：(3♂), 1992. 9. 6. 北本市石戸宿：(2♂), 1993. 7. 31.

大きめの沼池に多い。

〔トンボ科〕

44. ハラビロトンボ

横瀬町赤穂木池：(1♂⑦), 1992. 5. 22. 横瀬町宇根：(♂♀多数), 1992. 6. 27. 皆野町国神：(2♂⑦), 1993. 5. 21; (♂♀数頭), 1993. 8. 12. 寄居町牟礼：(1♂⑦), 1992. 6. 21. 玉川村門林溜池：(♂♀多数⑦), 1992. 6. 12.

休耕田に多いが、全ての湿地でみられるわけではなく、越生町大龜池ではシオヤトンボとの競合に負けたのか全く見られなかった。

45. シオカラトンボ

秩父市太田：(1♂1♀, 交尾), 1993. 7. 29. 秩父市太田蒔田川：(♂♀極めて多数), 1993. 7. 29. 横瀬町宇根：(数頭), 1992. 6. 27. 横瀬町赤穂木池：(?⑦), 1992. 6. 3. 横瀬町姿之池：(?), 1992. 8. 30. 皆野町大塚池：(1♂), 1992. 6. 21. 皆野町国神：(♂♀数頭⑦), 1993. 8. 12. 越生町大龜池：(1 ex.), 1992. 5. 21; (?), 1992. 9. 20. 毛呂山町大谷木川：(1 ex.), 1992. 5. 21. 玉

川村明覚付近：（♂♀多数），1992. 8. 23. 小川町高谷：（1♂○），1992. 4. 28. 嵐山町楓川・門林溜池：（数頭），1992. 6. 12. 鳩山町笹山沼・大沼：（？），1992. 9. 20. 東松山市上唐子：（数頭），1992. 6. 12. 東松山市高坂：（♂♀多数），1992. 8. 23. 飯能市天覧山：（♂♀数頭○），1992. 8. 24. 所沢市狭山湖：（♂♀数頭○），1992. 8. 24. 吉見町八丁湖：（♂♀多数），1992. 9. 6. 川越市高階：（♂♀多数），1992. 8. 6. 北本市石戸宿：（1♂1♀），1992. 6. 16. 桶川市川田谷：（？），1992. 8. 29. 羽生市三田ヶ谷：（？），1992. 7. 21. 妻沼町中江袋：（？），1992. 7. 21. 加須市：（？），1992. 7. 21. 蓼田市黒浜沼：（♂♀多数），1992. 8. 6. 岩槻市赤坂沼：（♂♀多数），1992. 8. 6.

県内各地で極めて普通に見られる。

46. シオヤトンボ

横瀬町赤穂木池：（1ex. ○），1992. 4. 28. 横瀬町宇根：（♂♀数頭），1992. 6. 27. 皆野町大塚池：（♂♀数頭），1992. 5. 21；（1♂○），1992. 7. 9. 皆野町国神：（1♂），1993. 5. 7. 越生町大亀池：（♂♀多数○），1992. 5. 12. 小川町小瀬田沼：（♂♀多数○），1992. 5. 12. 小川町高谷：（1♂），1992. 5. 12. 毛呂山町大谷木：（♂♀数頭），1992. 5. 21. 寄居町牟礼：（1ex. ○），1992. 4. 28. 寄居町末野：（♂♀多数），1993. 5. 17. 玉川村門林溜池：（♂♀多数），1992. 6. 12. 嵐山町楓川：（？），1992. 6. 4；（1♂），1993. 5. 11. 鳩山町熊井：（1♀），1993. 5. 27. 所沢市狭山湖：（♂♀多数），1993. 5. 25. 北本市石戸宿：（♂♀数頭），1992. 4. 21.

4月下旬～6月にかけ、水田付近に多い。

47. オオシオカラトンボ

秩父市太田：（♂♀数頭○），1993. 7. 29. 横瀬町宇根：（1♂1♀），1992. 6. 27. 横瀬町赤穂木池：（♂♀数頭○），1992. 7. 20. 皆野町大塚池：（1♂1♀○），1992. 6. 21. 皆野町国神：（♂♀数頭○），1993. 7. 29. 越生町大亀池：（♂♀多数○），1992. 8. 7. 寄居町末野：（1ex.），1993. 5. 28. 鳩山町笹山沼：（1♀），1992. 9. 27. 小川町小瀬田沼？，1992. 8. 23. 飯能市天覧山：（♂♀数頭○），1992. 8. 24. 所沢市狭山湖：（♂♀数頭○），1992. 8. 24. 吉見町田中：（？），1992. 9. 6. 北本市石戸宿：（1♂○），1992. 6. 16.

池沼や林縁によく見られる。

48. ヨツボシトンボ

横瀬町赤穂木池：（1♂○），1992. 6. 3. 皆野町大塚池：（1♂○），1992. 5. 22. 皆野町国神：（1♂1♀○，産卵），1993. 5. 21；（1♂），1993. 6. 12.

秩父では、かつて多くの個体が見られたが、近年激減した。

49. ショウジョウトンボ

横瀬町赤穂木池：（1♂○），1992. 6. 21；（♂♀多数），1993. 6. 1. 横瀬町宇根：（1♂），1992. 6. 27. 皆野町国神：（1♂），1992. 9. 10；（1ex.），1993. 5. 28. 桶川市川田谷：（1♀○），1992. 8. 29. 妻沼町中江袋：（♂♀数頭○），1992. 7. 21.

池沼に多いが比較的分布は局地的。

50. コフキトンボ

東松山市高坂：（♂♀多数），1992. 8. 23. 北本市蓮沼：（♂♀数頭），1993. 7. 31. 桶川市川田谷：（1♂◎），1992. 9. 13. 羽生市三田ヶ谷：（♂♀多数◎），1992. 7. 21. 加須市：（♂♀多数◎），1992. 7. 21. 蓼田市黒浜沼：（♂♀多数◎），1992. 8. 6.

河川停水留や低湿地に多い。

51. ミヤマアカネ

皆野町国神：（1♂1♀◎），1992. 9. 12. 越生町大龜池：（1♀），1992. 9. 20. 毛呂山町大谷木：（♂♀多数◎），1992. 8. 7. 寄居町折原：（1♂◎（ビデオ）），1993. 7. 15. 小川町小瀬田沼：（1ex.），1992. 8. 23. 小川町本町：（1♂），1992. 10. 10. 東松山市上唐子：（1♂），1992. 8. 7.

水田に多いアカネ。近年減少した。

52. ナツアカネ

秩父市田代：（♂♀数頭），1992. 7. 20. 横瀬町赤穂木池：（♂♀数頭），1992. 7. 20. 横瀬町宇根：（♂♀多数），1992. 8. 30. 皆野町大塚池：（♂♀数頭◎），1992. 7. 9. 皆野町国神：（♂♀多数），1992. 10. 22. 越生町大龜池：（♂♀多数），1992. 9. 20. 毛呂山町大谷木：（♂♀多数），1992. 8. 7. 寄居町折原：（♂♀きわめて多数），1993. 7. 15. 寄居町末野：（？），1992. 9. 10. 鳩山町笹山沼・大沼・南沼：（♂♀多数），1992. 9. 20. 吉見町八丁湖：（♂♀数頭），1992. 9. 6. 東松山市上唐子：（♂♀数頭◎），1992. 7. 9. 桶川市川田谷：（♂♀多数），1992. 10. 22.

都心の信濃町でも10月半ば頃見かけることがある。

54. ヒメアカネ

横瀬町宇根：（1♀◎），1992. 7. 20. 皆野町国神：（♂♀数頭），1992. 10. 22；（♂♀数頭），1993. 8. 12. 飯能市天覧山：（♂♀数頭◎），1992. 8. 24.

山裾の水田に多い。

55. マユタテアカネ

横瀬町赤穂木池（1♂◎），1992. 7. 20. 横瀬町宇根：（？），1992. 8. 30. 皆野町大塚池：（1♀；ノシメ型），1992. 7. 20. 皆野町国神：（？），1992. 10. 22；（1♀；ノシメ型），1993. 8. 12. 鳩山町笹山沼：（？），1992. 9. 27. 鳩山町熊井：（1♂），1992. 10. 7；（1ex.），1993. 8. 12. 小川町小瀬田沼：（？），1992. 8. 23. 東松山市上唐子：（1♂◎），1992. 8. 7.

8～10月、山麓に多く見られる。

56. リスアカネ

横瀬町赤穂木：（1♀◎），1992. 9. 9. 皆野町国神：（数頭），1992. 9. 10；（数頭），1992. 9. 12；（数頭），1992. 9. 21；（数頭），1992. 9. 22；（数頭），1992. 9. 23（1♂），1992. 9. 27；桶川市川田谷：（1♂◎），1992. 9. 13.

丘陵地の池沼に産するがあまり多くない。

57. ノシメトンボ

横瀬町姿之池：(1♀○), 1992. 8. 30. 鳩山町熊井：(1♀○), 1992. 10. 10. 吉見町八丁湖：(1ex.), 1992. 9. 6. 吉見町田中：(2♀○), 1992. 9. 6. 北本市石戸宿：(♂♀多数), 1993. 7. 31. 桶川市川田谷：(1ex.○), 1992. 8. 29; (♂♀数頭), 1992. 10. 22. 熊谷市三ヶ尻：(1♂○), 1992. 9. 10.

平地の河川敷に特に多い。

58. コノシメトンボ

皆野町国神：(1♂), 1992. 9. 20; (1♂1♀○), 1992. 9. 22.
ノシメ属では、最も少ない。

59. キトンボ

皆野町国神：(1♂○), 1992. 10. 3.
上記の1頭を見たのみ。非常に稀な種である。

60. ネキトンボ

横瀬町赤穂木池：(1♂○), 1992. 9. 9. 皆野町国神：(1♂1♀), 1992. 10. 3. 鳩山町笹山沼：(1♂), 1992. 9. 27. 鳩山町熊井：(1♀○), 1992. 10. 7.
キトンボよりは多く見られる。国神では、9月下旬に、数頭を確認した。

61. ウスバキトンボ

秩父市太田：(♂♀多数○), 1992. 7. 20. 横瀬町赤穂木：(♂♀数頭○), 1992. 8. 30. 横瀬町宇根：(♂♀数頭○), 1992. 8. 30. 皆野町国神：(♂♀数頭), 1992. 10. 3. 越生町大龜池：(♂♀数頭), 1992. 9. 20. 毛呂山町大谷木：(♂♀多数), 1992. 8. 7. 鳩山町大沼・南沼：(♂♀数頭), 1992. 9. 20. 鳩山町熊井：(数頭), 1992. 10. 7. 小川町小瀬田沼：(?), 1992. 8. 23. 飯能市天覧山：(1♂), 1992. 8. 24. 所沢市狭山湖：(数頭), 1993. 7. 23. 所沢市狭山湖：(♂♀数頭), 1992. 8. 24. 吉見町八丁湖：(1♂), 1992. 9. 6. 桶川市川田谷：(1♂), 1992. 10. 22. 岩槻市赤坂沼：(?), 1992. 8. 6.

62. コシアキトンボ

秩父市太田：(♂♀多数), 1992. 7. 20. 横瀬町赤穂木：(1♂○), 1992. 6. 21. 横瀬町姿之池：(?), 1992. 8. 30. 皆野町大塚池：(1♂○), 1992. 6. 21. 皆野町国神：(1♂), 1993. 6. 12. 越生町大龜池：(♂♀多数○), 1992. 8. 7. 鳩山町笹山沼：(1♂1♀○), 1992. 9. 27. 鳩山町熊井：(♂♀多数), 1993. 8. 12. 東松山市上唐子：(♂♀数頭), 1992. 6. 12. 東松山市高坂：(♂数頭), 1992. 8. 23. 吉見町八丁湖：(♂♀数頭), 1992. 9. 6. 北本市蓮沼：(♂♀多数), 1993. 7. 31. 北本市石戸宿：(2♂), 1992. 7. 21. 桶川市川田谷：(?), 1992. 8. 29. 羽生市三田ヶ谷：(♂♀多数○), 1992. 7. 21. 妻沼町中江袋：(♂♀多数○), 1992. 7. 21. 加須市：(♂♀多数○), 1992. 7. 21. 岩槻市赤坂沼：(?), 1992. 8. 6.

63. チョウトンボ

横瀬町赤穂木：(2ex.)，1992.8.30. 桶川市川田谷：(1ex.)，1992.9.13. 岩槻市赤坂沼：(1ex.⑦)，1992.8.6.

上記のように目撃例は少ない。

現在の状況

秋季のトンボはまだ調査中なので結論は出せないが、記録のあるもので努力に拘わらず発見できないものとして、トラフトンボ、ホソミイトトンボ、キイロサナエ、ハッチョウトンボなどがある。

特にトラフトンボは、皆野町国神を中心に5～6月上旬にかけ、かなり足を運んだが、飛翔する本種を発見できなかったのが残念である。

(まつざき ゆういち 〒202 東京都保谷市泉町 3-8-19-205)

埼玉県におけるイナゴモドキの採集記録

内田正吉

1993年3月28日に北本市にある埼玉県自然学習センターで行われた埼玉昆虫談話会総会の折、小堀文彦氏が持参された標本箱を見させていただいた。その中に1頭(メス)の埼玉産イナゴモドキが入っていた。本種はまだ埼玉県からは記録がなかったもので、その旨を小堀氏に伝えたところ、こころよく標本を筆者に提供してくださった。小堀氏並びに、小堀氏の娘さんであり採集者であるあさぎ姫に厚くお礼申し上げる。採集データは以下のとおりである。なお、標本は筆者が保管している。

さらに筆者は最近になり、秩父郡両神村において、本種を採集した。その採集データもあわせてここに記す。

イナゴモドキ *Mecostethus alliaceus alliaceus* (Germar, 1817)

1♀, 秩父郡皆野町蓑山美の山公園, 1992年9月20日, 小堀あさぎleg.

1♀, 秩父郡両神村黒海土(標高300m), 1993年8月19日, 内田正吉leg.

蓑山は標高約500mより上方の頂上まで(頂上は標高586m)が美の山公園になっている。また、両神村での採集地点は平坦地の桑園に接したスキの繁茂する乾燥した荒れ地であり、近くに交通量の多い県道も通っており、人為的影響の強い環境である。

本種は北方系であり、比較的標高の高い乾燥した草原に住むバッタである。本種が埼玉県内でどのような分布をしているのか、興味がもたれる。本県のみならず近隣諸県におけるデータをも増やしながら、分布状況を把握していく必要がある。

(うちだ まさよし 〒369-12 大里郡寄居町桜沢 1505)

北本市石戸宿で採集した甲虫類(2)

記野 直人・長谷川 洋

前号に引き続き、北本市石戸宿で数回にわたり採集した甲虫類を報告する。採集記録は、採集日、採集個体、採集者の順に並んでおり、採集者に関しては、記野を“NK”，長谷川を“YH”で表記してある。

ハネカクシ科

キンボシハネカクシ *Ocypus weisei*

9. X. 1987, 1 ex. YH.

アオバアリガタハネカクシ *Paederus fuscipes*

13. III. 1988, 2 ex. YH.

クワガタムシ科

ノコギリクワガタ *Prosopocoilus inclinatus*

20. VI. 1986, 1♂ NK.

コガネムシ科

カブトムシ *Allomyrina dichotoma*

19. VIII. 1986, 2♂ NK, YH.

ドウガネブイブイ *Anomala cuprea*

25. VIII. 1986, 2 ex. NK, YH; 17. VI. 1987, 1 ex. YH.

サクラコガネ *Anomala daimiana*

19. VIII. 1986, 2 ex. NK, YH; 25. VIII. 1986, 1 ex. YH; 17. VI. 1987, 1 ex. YH; 2. VII. 1987, 2 ex. NK, YH.

ハンノヒメコガネ *Anomala puncticollis*

5. VIII. 1986, 3 ex. NK; 19. VIII. 1986, 4 ex. NK, YH; 17. VI. 1987, 2 ex. NK, YH; 2. VII. 1987, 2 ex. NK, YH.

ヒメコガネ *Anomala rufocuprea*

25. VIII. 1986, 2 ex. YH.

コイチャコガネ *Adoretus tenuimaculatus*

17. VI. 1987, 1 ex. YH.

ウスイロマグソコガネ *Aphodius sublimbatis*

29. VI. 1986, 1 ex. NK.

フチケマグソコガネ *Aphodius urostigma*

19. VIII. 1986, 2 ex. NK.

ヒメカンショコガネ *Apogonia amida*

17. VI. 1987, 1 ex. NK.

セマダラコガネ *Britopertha orientalis*

2. VII. 1987, 2 ex. NK, YH.

オオクロコガネ *Holotrichia parallela*

17. VI. 1987, 1 ex. NK.

コガネムシ *Mimela splendens*

2. VII. 1987, 2 ex. NK, YH.

アカビロウドコガネ *Maladera castanea*

19. VIII. 1986, 1 ex. YH.

マルガタビロウドコガネ *Maladera secreta*

17. VI. 1987, 1 ex. YH.

オオビロウドコガネ *Maladera remardi*

27. V. 1987, 1 ex. YH.

マルハナノミダマシ科

ツマアカマルハナノミダマシ *Eucinetus haemorrhoidalis*

24. VII. 1989, 1 ex. NK.

マルハナノミ科

トビイロマルハナノミ *Scirtes japonicus*

19. VIII. 1986, 1 ex. YH; 17. VI. 1987, 1 ex. YH; 2. VII. 1987, NK.

ヒラタドロムシ科

ヒラタドロムシ *Mataeopsephus japonicus*

19. VIII. 1986, 1 ex. YH; 4. IX. 1986, 2 ex. NK, YH.

ナガドロムシ科

タテスジナガドロムシ *Heterocerus fenestratus*

20. VI. 1986, 4 ex. NK, YH; 25-28. VIII. 1986, 2 ex. NK; 4. IX. 1986, 3 ex. NK, YH; 27. V. 1987, 1 ex. YH; 17. VI. 1987, 15 ex. NK, YH.

ヒメドロムシ科

キスジミゾドロムシ *Ordobrevia foveicollis*

24. VII. 1989, 4 ex. NK, YH.

コメツキダマシ科

エノキコメツキダマシ *Galloisius amplicollis*

2. VII. 1987, 1 ex. NK.

コメツキムシ科

マダラチビコメツキ *Aeoloderma agnatum*

2. VII. 1987, 2 ex. NK.

オオハナコメツキ *Dicronychus nothus*

17. VI. 1987, 1 ex. NK; 2. VII. 1987, 1 ex. NK.

クロスジクチボソコメツキ *Glyphonyx daloioides*

17. VI. 1987, 1ex. NK; 2. VII. 1987, 1ex. NK.

クシコメツキ *Melanotus legatus*

17. VI. 1987, 1ex. NK; 2. VII. 1987, 1ex. NK.

ルイスクシコメツキ *Melanotus lewisi*

2. VII. 1987, 1ex. NK; 24. VII. 1989, 1ex. NK.

ヒゲナガコメツキ *Neotrichophorus junior*

20. VI. 1986, 1ex. NK.

クチブトコメツキ *Silesis musculus*

2. VII. 1987, 1ex. NK.

オオクチヒゲコメツキ *Tetrigus lewisi*

18. VII. 1990, 1♂ NK; 25. VIII. 1986, 1♂ NK.

カツオブシムシ科

カドマルカツオブシムシ *Dermestes haemorrhoidalis*

2. VII. 1987, 1ex. NK.

スジカツオブシムシ *Dermestes freudi*

2. VII. 1987, 1ex. YH.

カッコウムシ科

ツマグロツツカッコウムシ *Tenerus hillieri*

24. VIII. 1989, 1ex. NK.

イガラシカッコウムシ *Tillus igarashii*

17. VI. 1987, 1ex. YH; 2. VII. 1987, 1ex. YH.

アカクビホシカムシ *Necrobia ruficollis*

18. VIII. 1989, 1ex. YH.

ケシキスイ科

ルイスコオニケシキスイ *Cryptarcha lwiisi*

20. VI. 1986, 1ex. NK.

ヒメヒラタケシキスイ *Epuraea domina*

27. V. 1987, 1ex. NK.

ニセアカマダラケシキスイ *Lasiodactylus borealis*

17. VI. 1987, 2ex. NK, YH.

アカマダラケシキスイ *Lasiodactylus pictus*

2. VI. 1987, 1ex. NK.

アカハラケシキスイ *Librodor rufiventris*

20. VI. 1986, 1ex. NK.

ヨツボシケシキスイ *Librodor japonicus*

17. VI. 1987, 1ex. YH.

クロマダラケシキスイ *Soronia lewisi*

20. VI. 1986, 3 ex. NK, YH; 27. V. 1987, 1 ex. YH.

オオキノコムシ科

ヒメオビオオキノコ *Episcapha fortunei*

20. VI. 1986, 4 ex. NK, YH; 27. V. 1987, 1 ex. YH; 15. VIII. 1988, 1 ex. YH.

テントウムシ科

ジュウクホシテントウ *Anisosticta kobensis*

18. VII. 1990, 3 ex. NK, YH; 24. VII. 1989, 1 ex. NK.

ナナホシテントウ *Coccinella septempunctata*

17. VI. 1987, 1 ex. NK.

ナミテントウ *Harmonia axyridis*

17. VI. 1987, 2 ex. YH; 2. VII. 1987, 2 ex. YH.

ジュウサンホシテントウ *Hyppodamia tredecimpunctata*

25. VIII. 1986, 2 ex. NK, YH; 14. X. 1986, 1 ex. YH; 17. VI. 1987, 1 ex. YH; 24. VII. 1989, 1 ex. YH.

ムモンチャイロテントウ *Micraspis kurosa*

2. VII. 1987, 1 ex. NK; 18. VII. 1990, 2 ex. NK, YH.

ヒメカメノコテントウ *Propylea japonica*

25. VIII. 1986, 1 ex. YH; 17. VI. 1987, 1 ex. YH; 18. VII. 1990, 1 ex. YH.

ババヒメテントウ *Scymnus babai*

24. VII. 1989, 1 ex. YH.

ゴミムシダマシ科

ガイマイゴミムシダマシ *Alphitobius diaperinus*

4. IX. 1986, 1 ex. NK.

ヒメキマワリ *Plesiophthalmus laevicollis*

18. VII. 1990, 1 ex. NK; 20. VI. 1986, 1 ex. NK.

ナガクチキムシ科

クロホソナガクチキ *Phloeotrya rugicollis*

27. V. 1987, 1 ex. NK.

カミキリモドキ科

キバネカミキリモドキ *Xanthochroa luteipennis*

20. VI. 1986, 1♀ NK; 17. VI. 1987, 1♀ NK; 18. VII. 1990, 1♀ NK.

アリモドキ科

クロスジイッカク *Notoxus haagi*

25. VIII. 1986, 3 ex. NK; 4. IX. 1986, 2 ex. NK.

ヨツボシホソアリモドキ *Pseudoleptaleus valgipes*
 18. VII. 1990, 2 ex. NK.

カミキリムシ科

サビカミキリ *Arhopalus rusticus*
 19. VIII. 1986, 1 ♀ NK.

アカアシオオアオカミキリ *Chloridolum japonicum*
 18. VII. 1990, 1 ♂ NK.

クモガタケシカミキリ *Exocentrus fasciolatus*

17. VI. 1987, 1 ex. NK; 2. VII. 1987, 1 ex. NK; 24. VIII. 1992, 1 ex. NK.

ガロアケシカミキリ *Exocentrus galloisi*

4. IX. 1986, 1 ex. NK.

シラオビゴマフケシカミキリ *Exocentrus guttulatus*
 17. VI. 1987, 1 ex. NK; 2. VII. 1987, 1 ex. NK.

マルクビケマダラカミキリ *Hesperophanes campestris*
 2. VII. 1987, 1 ♂ 1 ♀ NK; 18. VII. 1990, 1 ♀ NK.

カタジロゴマフカミキリ *Mesosa hirsuta*
 25. VIII. 1986, 1 ex. NK.

ハムシ科

キバラルリクビボソハムシ *Lema concinnipennis*
 18. VII. 1990, 1 ex. YH.

スゲクビボソハムシ *Lema dilecta*
 20. VI. 1986, 1 ex. YH.

セアカクビボソハムシ *Lema scutellaris*
 2. VII. 1987, 1 ex. YH.

アオバネサルハムシ *Basilopta fulvipes*
 5. VIII. 1986, 3 ex. NK; 19. VIII. 1986, 1 ex. YH; 24. VII. 1989, 4 ex. YH; 18. VII. 1990, 1 ex. NK.

キカサハラハムシ *Xanthonia placida*
 18. VII. 1990, 1 ex. YH.

ニホンケブカサルハムシ *Lypesithes japonicus*
 18. IV. 1989, 1 ex. YH.

イチゴハムシ *Galerucella griseascens*
 4. IX. 1986, 1 ex. YH; 25. VIII. 1986, 4 ex. YH; 15. VI. 1988, 2 ex. YH; 24. VII. 1989, 2 ex. YH.

ヨツボシハムシ *Paridea quadriplagiata*
 28. IV. 1989, 1 ex. YH.

フタスジヒメハムシ *Medythia nigrolineata*
 17. VI. 1989, 1 ex. YH.

ホタルハムシ *Monolepta dichroa*

4. IX. 1986, 1 ex. YH ; 19. VIII. 1986, 1 ex. YH ; 25. VIII. 1986, 2 ex. YH ; 2. VII. 1987, 1 ex. YH.

ヒメカメノコハムシ *Cassida piperata*

18. VII. 1990 1 ex. YH.

マメゾウムシ科

サイカチマメゾウムシ *Bruchidius dorsalis*

2. VII. 1987, 1 ex. NK.

ヒゲナガゾウムシ科

キノコヒゲナガゾウムシ *Euparius oculatus*

25. VIII. 1986, 1 ex. NK.

エゴヒゲナガゾウムシ *Exechesops leucopis*

18. VII. 1990, 1♂ NK.

ウスモンツツヒゲナガゾウムシ *Ozotomerus japonicus*

17. VI. 1987, 1 ex. NK ; 24. VII. 1989, 1 ex. NK.

(以上)

(きの なおと 〒167 東京都杉並区井草 1-32-1-103)

(はせがわ よう 〒181 東京都三鷹市大沢 1-2-39, 川崎荘 102)

・・・・・

埼玉県下におけるトンボ類の採集記録（1）

西田 章彌

・・・・・

1991年8月から1993年8月にかけて、筆者が埼玉県内で採集したトンボ類に関して報告する。

以下の記録は、採集地名：記録個体、採集日の順に記してあり、地名には、必要に応じて公園や池沼の名を（ ）内に書き表した。また、同一採集地のデータは、地名を繰り返さず“；”でつないである。記録個体はほとんど採集記録であるが、一部、確実な目撃記録についても、（ ）付きで記述してある。

〔イトトンボ科〕

キイトトンボ

岩槻市平林寺（赤坂沼）：2♂，1993.7.31.

ベニイトトンボ

岩槻市平林寺（赤坂沼）：1♂1♀，1993.7.31.

アジアイトトンボ

草加市柿木町：3♂3♀，1992.8.2. 草加市八幡町：3♂3♀，1993.4.24. 越谷市増林：1♀，1992.11.21.

アオモンイトトンボ

蓮田市貝塚（山ノ神沼）：1♂，1992.8.19.

クロイトトンボ

寄居町桜沢（大正池）：1♂，1993.6.28. 羽生市三田ヶ谷（羽生水郷公園）：1♂；1992.8.29. 草加市柿木町：1♂，1992.8.2；1♂，1992.9.1. 岩槻市平林寺（赤坂沼）：（多数目撃），1993.7.29.

オオイトトンボ

草加市柿木町：1♂，1992.7.26；1♂，1992.8.2. 越谷市船渡：（数頭目撃），1992.8.6.

〔モノサシトンボ科〕

モノサシトンボ

日高市台（滝不動）：1♀，1993.6.20. 飯能市飯能（雨乞池）：1♂1♀，1993.7.27.

オオモノサントンボ

蓮田市貝塚（山ノ神沼）：1♂, 1992. 8. 19. 羽生市三田ヶ谷（羽生水郷公園）：2♂1♀, 1992. 8. 29.

〔アオイトトンボ科〕

アオイトトンボ

浦和市秋ヶ瀬公園：2♂1♀, 1992. 8. 6 ; 1♂1♀, 1992. 9. 27.

オオアオイトトンボ

岩槻市太田（岩槻公園）：4♂, 1992. 10. 17. 岩槻市村国（岩槻文化公園）：1♂, 1992. 10. 17.

〔カワトンボ科〕

アオハダトンボ

日高市新堀：2♂2♀, 1993. 6. 4.

ハグロトンボ

浦和市秋ヶ瀬公園：3♂2♀, 1992. 7. 29 ; 1♀, 1993. 7. 29. 飯能市阿須：1♀, 1993. 7. 27.

ミヤマカワトンボ

日高市新堀：1993. 6. 4.

ヒガシカワトンボ

所沢市堀ノ内（三ヶ島湿地）：1♂1♀, 1992. 5. 22 ; 3♂1♀, 1993. 5. 19. 日高市台（滝不動）：2♂（透明型のみ）2♀, 1993. 5. 19.

〔ムカシトンボ科〕

ムカシトンボ

飯能市南川：2♂, 12. 5. 1992 ; 1♀, 17. 5. 1992 ; 1♂, 1993. 4. 24 ; 1♂1♀, 1993. 5. 6.

〔ムカシヤンマ科〕

ムカシヤンマ

飯能市宮沢：1♂, 1992. 6. 13.

この採集個体の額面は、いわゆる西日本型であった。

〔サナエトンボ科〕

ヤマサナエ

飯能市宮沢：1♂, 1993. 5. 24. 日高市台（滝不動）：1♂, 1993. 5. 19. 所沢市堀ノ内（三ヶ島湿

地) : 1♀, 1992. 5. 22; 2♂ 1♀, 1992. 6. 21; 1♂, 1993. 5. 19.

ヒメクロサナエ

飯能市南川: 2♀, 1992. 5. 12; 1♂, 1992. 5. 17; 1♀, 1993. 5. 6.

オジロサナエ

寄居町桜沢(大正池) : 1♀, 1993. 6. 28.

コオニヤンマ

寄居町桜沢(大正池) : 1♀, 1993. 6. 28.

ウチワヤンマ

羽生市三田ヶ谷(羽生水郷公園) : 1♂, 1992. 8. 21; 2♂, 1992. 8. 29.

[オニヤンマ科]

オニヤンマ

飯能市南川: 1♂, 1992. 8. 22. 所沢市堀ノ内(三ヶ島湿地) : 1♂ 1♀, 1992. 8. 17. 越谷市東町(見田方遺跡公園) : 1♂, 1991. 8. 6.

越谷の記録については、この付近に生息地はないので、おそらく遠方から飛来したと思われる。

[ヤンマ科]

サラサヤンマ

日高市台(滝不動) : 2♂, 1993. 6. 4. 飯能市宮沢: 2♂ 1♀, 1993. 6. 20. 所沢市堀ノ内(三ヶ島湿地) : 2♂ 2♀, 1992. 6. 5; 1♂, 1992. 6. 21.

ミルンヤンマ

飯能市南川: 1♂ 1♀, 1992. 8. 17.

アオヤンマ

岩槻市(赤坂沼付近水田) : (1♂), 1993. 7. 31.

ヤブヤンマ

飯能市飯能(雨乞池) : (1♂), 1993. 7. 27.

クロスジギンヤンマ

所沢市堀ノ内(三ヶ島湿地) : 2♂, 1992. 6. 5.

ギンヤンマ

蓮田市貝塚(山ノ神沼) : 1♂, 1992. 8. 19. 草加市柿木町(草加公園) : 1♂, 1992. 7. 8; 1♂, 1992. 7. 26. 越谷市船渡 : 1♂, 1992. 8. 6; 2♂, 1992. 8. 8.

〔エゾトンボ科〕

オオヤマトンボ

羽生市三田ヶ谷(羽生水郷公園) : 1♂, 1992. 8. 12. 蓼田市貝塚(山ノ神沼) : 1♂, 1992. 8. 19.
草加市柿木町(草加公園) : 1♂, 1992. 7. 28; 1♂, 1992. 8. 5. 浦和市秋ヶ瀬 : 2♂, 1992. 8. 6.

オオエゾトンボ

所沢市堀ノ内(三ヶ島湿地) : 4♂, 1992. 6. 21; 1♂, 1992. 6. 26.

タカネトンボ

飯能市飯能(雨乞池) : 3♂, 1992. 9. 16.

〔トンボ科〕

ハラビロトンボ

岡部町谷津 : 1♂ 1♀, 1993. 6. 28. 飯能市飯能(雨乞池~天覧山) : (多数), 1993. 7. 27.

シオカラトンボ

浦和市秋ヶ瀬公園 : 1♂, 1992. 8. 6. 羽生市三田ヶ谷(羽生水郷公園) : 1♂, 1992. 8. 11. 草加市柿木町(草加公園) : 1♂ 1♀, 1992. 7. 26.

シオヤトンボ

飯能市宮沢 : 1♂ 2♀, 1993. 5. 24. 所沢市堀ノ内(三ヶ島湿地) : 3♂ 1♀, 1992. 5. 22; 2♂, 1993. 5. 19.

オオシオカラトンボ

所沢市堀ノ内(三ヶ島湿地) : 1♂, 1992. 6. 21; 1♀, 1992. 6. 27. 岩槻市太田(岩槻公園) : 1♂ 1♀, 1992. 7. 28.

ショウジョウトンボ

日高市台(滝不動) : 1♀, 1992. 6. 20. 草加市柿木町 : 2♂, 1992. 7. 28.

コフキトンボ

羽生市三田ヶ谷(羽生水郷公園) : 1♂ 1♀(オビ型), 1992. 8. 11; 2♂, 1992. 8. 29.
オビ型♀は蓮田市山ノ神沼でも目撃(1992. 8. 19)した。

ナツアカネ

岩槻市村国(岩槻文化公園) : 1♂, 1992. 10. 17.

アキアカネ

浦和市秋ヶ瀬公園 : 1♂, 1992. 9. 27. 越谷市東町(見田方遺跡公園) : 1♂ 1♀, 1992. 7. 27. 越谷市北川崎 : 1♂, 1992. 11. 29; 1♂ 1♀, 1993. 6. 27.

(1993年6月27日、この日に本種の大量羽化を観察した)

ヒメアカネ

飯能市飯能：1♀，1992.9.16. 所沢市堀ノ内（三ヶ島湿地）：1♀，1992.8.17. 浦和市秋ヶ瀬公園：1♀，1992.8.6.

マイコアカネ

浦和市秋ヶ瀬公園：1♀，1992.8.6.

リスアカネ

浦和市秋ヶ瀬公園：1♂，1992.9.27.

コノシメトンボ

飯能市飯能：1♀，1992.9.16.

ノシメトンボ

草加市柿木町：1♂1♀，1991.9.1. 越谷市北川崎：1♀，1993.6.27.

コシアキトンボ

草加市柿木町（草加公園）：1♂，1992.7.26.

ウスバキトンボ

浦和市秋ヶ瀬公園：1♂，1992.8.6. 草加市柿木町（草加公園）：1♀，1992.7.2；2♀，1992.7.26；2♂，1992.8.2.

チョウトンボ

浦和市秋ヶ瀬公園：3♂，1992.7.29. 越谷市船渡：2♂，1992.8.19；1♂，1992.8.20；1♂，1992.8.21.

（にしだ あきら 〒340 草加市青柳 5-36-21-203）

北本市石戸宿でのミルンヤンマの採集記録

西 田 彰

筆者は、1993年9月10日、北本市石戸宿において、同地を採集に訪れていた木下隆方氏（東京在住）から、ミルンヤンマ1♂を譲り受けた。氏によれば、同日の午後3時半頃、同地の雑木林の中を飛んでいたのを採集したということであった。筆者も、その後、4回にわたって同地で本種を探してみたが、確認できなかった。

主に山間の渓流域に生息する本種が平野で発見されたことは驚きであり、今後もさらに調査する必要があると思われる。

（にしだ あきら 〒340 草加市青柳 5-36-21-203）

.....

秩父のカラスシジミ

石塚 正彦

.....

筆者は埼玉県では非常に記録が少なく分布、発生時期など不明な点の多いカラスシジミについて以下の地域で採集、観察しているので報告する。

棲息地①：秩父郡皆野町野巻

採集日（幼虫）：1993年5月15日 終令幼虫

食樹の生育環境：山の沢沿いの斜面に4～5mのハルニレが10本程度クヌギと混生している。

飼育経過 : 5/18前蛹 5/21蛹化 6/1羽化♀

幼虫はハルニレの木の横に2mぐらい張り出した最下枝で高さ1.5m程の手に届くところの枝の先端部の葉の裏側に付いていた（写真1）。

結局この棲息地には合計10数回以上足を運んだが成虫の姿を見ることが出来なかった。

棲息地②：秩父郡吉田町

採集日（蛹） : 1993年5月28日 2蛹 ⇒ 6/7 1♀羽化。1蛹は病死。

採集,

目撃日(成虫) : 1993年6月20日 1頭目撃（写真2）

1993年6月27日 2頭目撃うち1♀採集

1993年7月12日 2頭目撃

蛹化場所 : 食樹から6～7m離れたところで道路の下にあるコンクリートで出来た大きさ、幅1.3m高さ1.3m長さ10mの沢の水が流れるためのトンネルの入口から1m入ったところの天井に4蛹付いていた。そのうち2蛹は既に脱け殻であったが時期がちょっと早すぎるので去年のものかもしれない（写真3、4）。

棲息地③：秩父郡小鹿野町

採集日 : 1993年6月13日 1♀

その後二回この棲息地を訪れたが成虫を確認することは出来なかった。

棲息地④：秩父郡大滝村宮平

採集、目撃日 : 1993年6月27日 1♀採集

1993年7月4日 2頭目撃

1993年7月11日 2頭目撃うち1♀採集

1993年7月25日 1♂目撃

棲息地⑤：秩父郡大滝村中津川

採集、目撃日：1993年7月11日 5頭目撃うち2♀採集

ここ中津川の棲息地は厳密には約500mの間隔で二つの棲息地が並んでおり又、今回筆者が確認した棲息地の中で最もハルニレ密度が濃く、一日に目撃した成虫の数も最も多かった。

昨夏より秩父地方のカラスシジミの分布を調べようと先ずはハルニレの木を探すところから始め、最初はなかなかハルニレの木が見分けられず苦労したが、少しづつハルニレの生育環境などが解ってくると簡単でわないので見つけられるようになってきた。生育環境を一言で言えば「沢沿い」「川沿い」という事になる。沢沿いの場合水量が流れの幅にして50cm位から下で水がチョロチョロしか流れていないような小さな沢の方がハルニレは生えている。又谷が深い沢には生えていない。その他、小さな沢が川に流れ込んでいる場合その流れ込み口付近から上流にかけて点々とよく生えている。そして1本見つかれば必ず近くに3～4本生えている。川沿いの場合は川原付近から生え始め谷の斜面の上方20～30mの間によく生えている。

棲息地のハルニレの密度としては吉田町の場合10m以上の大木2本と6～8mの木が5本、小鹿野町の場合6～8mの木が6本、宮平の場合10m以上の木が2本と5mの木が2本そして100m離れて10m以上の木が2本、中津川の場合ひとつの棲息地が10m以上の大木が6本、もうひとつの棲息地は10m以上の大木が5本、6～9mの木が10本である。

成虫の採集および目撃状況としては殆どの場合ハルニレの木を叩いて追い出した。中には遠くからハルニレの木を見ていたら3mの高さのところに止まっているのが見えたこともあった。その他下草にとまっていたもの一例。ヒメジオンに来ていたもの三例。ハルニレの木の下にいたら飛んできて目の前にとまつたもの二例などである。

発生時期については5月の下旬より調査していたが初見日は小鹿野町の6月13日の1♀であり、その後採集、目撃されるのも雌ばかりで結局雄が採集できなかったので推測になってしまふが秩父市内近辺であれば、採集した蛹、幼虫の羽化時期及びその雌雄、初見日、などをもとに6月13日から雄の出現日を-6日、今年のゼフィルスの発生時期の遅れ-7日を考慮して逆算すると例年であれば6月の始め、早い年であれば5月下旬ということになる。しかし5月28日に蛹の脱け殻を発見しているがその環境が雨、風の当たらない良い環境であったことと生態図鑑に「本州の低地では、早ければ6月中旬からの発生」と記されていた理由で去年のものと考えていたが発生時期については再度調査したい。

以上簡単ではあるがまとめてみた。短期間ではあったがある程度の成果があげられたと思う。その後も二ヶ所でハルニレを見つけているので来年には又新しい棲息地が見つかることと思われる。まだまだ秩父地方には沢山の棲息地が眠っていると思う。

1993年10月

寄せ蛾記 (69) : 1541



写真1. 枝先についていた終齢幼虫 1993年5月15日 秩父郡皆野町野巻



写真2. 1993年6月20日 秩父郡吉田町



写真3. 蟻が付いていたトンネル、ハルニレは左手の蘚の中にある。1993年5月28日、秩父郡吉田町



写真4. トンネルの
中の蟻。(写真右
上の黒っぽいも
の。ストロボを
発光させたので
影が写っている)
1993年5月28日
秩父郡吉田町

中川水系総合調査で得られたトンボ類の記録

碓井 徹

1. はじめに

筆者は、1989年度から1992年度にかけて埼玉県がおこなった『中川水系総合調査』に“自然部門”的調査員として参加し、主に当地のトンボ相の調査をおこなった。その調査結果は、『中川水系 中川水系総合調査報告書1—総論・自然編—』の第3章 中川水系流域の植物と動物、第2節 流域の動物相のなかで、“トンボ類”という項目（以下、本編）で執筆を担当し、文献調査も含めて得られた知見をまとめた。しかし、このような刊行物は、限られたページの中で『一般の人に向けて、読みやすい内容で平易に記述する』という性格上、調査で得られた採集記録などを羅列するわけにもいかず、これまで多くの場合、こういった性格の調査データは、各調査員の野帳の中で眠ってしまうことも少なくなかった。本調査では、このような事態を回避するために、動物類の調査・執筆を担当した調査員を中心に、県の調査事務局側に対して、当初から刊行を予定されていた調査報告書のほかに、調査データを網羅した印刷物の作成を計画初年度から要望していたが、諸般の事情から、結局このようなデータ集は作成されないまま、この『中川水系総合調査』は、『写真集 中川水系』『中川水系 中川水系総合調査報告書1—総論・自然編—』『中川水系 中川水系総合調査報告書2—人文編—』の3冊を刊行して、1992年度に幕を閉じてしまったのである。

そのような経緯から、3年間にわたって埼玉県東部の低地で広範囲に調査したトンボ類の記録をまとめて発表するチャンスを逸してしまったわけだが、ここにきて当会の“埼玉県昆虫誌”的刊行計画がスタートしたことを受け、特に環境悪化の著しい県東部の昆虫相に関するデータは、たとえ普通種ばかりのデータであってもきちんと記録・公表しておくことは急務であると考え、本誌にこのデータを発表することにした次第である。

なお、『中川水系総合調査』では、中川水系の諸川とその流域全体を面として調査対象地域に設定しており、そのことは、熊谷市をはじめ、上尾市・浦和市・川口市などの東部、あるいは利根川の東側の北川辺町も対象地域に含まれることを意味している。大雑把に言えば、熊谷市・南河原村・羽生市を北限にして、高崎線・京浜線以東の埼玉県をすべて調査対象地域としていたと言えよう。実際、これほど広い地域のトンボ相を正味3年の期間で調べ尽くすことは困難な作業であり、現時点でも、未調査の河川や池沼が数多くあることを悔いているが、このような調査はいつまでたっても“完了”することはありえない性質のものもあり、ひとまず、本編執筆のために収集できた未発表のデータに限定して、以下にまとめることにした。

今回の仕事（本編執筆）では、筆者は、1970年代半ばまでの当地域のトンボ相の把握に関しては、長須（1973, 1978）に全面的に依存し、それ以後の知見の収集に関しては、現地調査を行なう一方で文献調査もおこない、また、当地域でトンボ類の調査をしたことのある数名のトンボ愛好家の方々にも調査データの公表を依頼し、快く応じていただいて、私信という形で貴重なデータの提供を受けることも出

來た。

データをお寄せくださった鈴木幸・松木和雄（山崎章氏の採集品に関して）・三田村敏正・小林文雄の各氏、調査報告書執筆にあたり、適切なアドバイスをくださった長須房次郎氏、そして、文献収集中いつも御協力くださり、今回も貴重な文献の入手をお手伝いくださった斎藤洋一氏に感謝申し上げる次第である。

また、本編執筆（1992年5月）以降も本誌などに当該地域のトンボ相に関する新たな報文も発表されているが、本報文は、県の事業としての本調査の継続期間中（1989年度から1992年度、原稿締切りの関係で実質は1992年春まで）に得られた知見、すなわち本編執筆の根拠となったデータ（筆者による調査データ・他者より提供された未発表データ・文献からの引用データ）を明確にする意味で、本編執筆以後に知りえたデータは含めていない。

2. 記録の書き方

本報文では、以下のようなデータの書き方をしている。

記録地名：記録個体、記録日、採集（目撃）者。

記録地名；すべて埼玉県内での記録なので“埼玉県”は省き、基本的には市町名と大字まで表記し、それを50音順に列記したが、必要に応じて、池沼の名称なども（ ）に入れて記した。また、同一地での記録は“；”を用いて地名を省き、記録を連ねている。

記録個体；採集記録に関しては♂♀も含めて個体数を明記したが、確実な目撃記録に関しても表記した。目撃記録では、目撃個体数が明確な場合は♂♀も含めて個体数を（ ）付きで明記したが、場合によつては、“数個体”，“多数”，あるいは♂♀が確実でない場合には“ex.”といった表現も用いている。例えば、“2♂，（3♂2♀）”は、♂2頭を採集し、その他に3♂2♀を目撃したことを意味している。

採集（目撃）者；筆者による記録は、“TU”で省略してある。筆者以外による記録は、採集者の名を表記した。

なお、文献からのデータは、碓井（1991）が発表したデータに関しては、“[碓井, 1991]”と引用したデータ末尾に記して再録したが、他の文献データは省略した。すなわち、以下に羅列したデータは、碓井（1991）の再録以外は、すべて未発表のデータである。

イトトンボ科

ヒヌマイトトンボ

八潮市南川崎：2♂2♀, 1991. 6. 19. TU [碓井, 1991].

キイトトンボ

北川辺町柳生：1♂, 1976. 7. 9. 小林文雄. 蓮田市貝塚：1♀, 1969. 8. 14. 山崎章.

ベニイトトンボ

蓮田市貝塚：2♂1♀, 1969. 8. 14. 山崎章.

アジアイトンボ

岩槻市黒谷（水上公園）：1♀，1991.8.28.TU. 北川辺町柳生：（多数），1976.7.9. 小林文雄；1♂1♀（多数），1976.10.3. 小林文雄. 北本市古市場（北本総合公園）：（6♂3♀），1991.9.3.TU；1♀（3♂1♀），1991.9.4.TU. 行田市北河原（北河原沼）：（1♀），1991.7.12.TU. 越谷市大林（宮内庁埼玉鴨場）：1♂1♀，1991.8.27.TU. 越谷市瓦曾根：（6♂1♀），1991.8.28.TU. 越谷市西新井（県民健康福祉村）：4♂1♀，1991.8.13.TU；（9♂8♀），1991.8.15.TU；（1ex.），1988.8.13. 鈴木幸. 越谷市増林：1♀（9♂3♀），1991.8.28.TU. 幸手市松石（高須賀池）：1♂1♀，1991.7.18.TU. 白岡町荒井新田：（多数），1991.8.17.TU. 草加市柿木町（草加公園）：（2♂3♀），1991.8.15.TU. 蓼田市貝塚（山ノ神沼）：1♂1♀，1991.8.17.TU. 蓼田市黒浜（黒浜沼）：3♂1♀，1989.8.20.TU. 羽生市三田ヶ谷：1♂1♀，1989.8.29.TU；1♂1♀，1991.7.19.TU. 三郷市高須（みさと公園）：（多数），1991.8.15.TU. 三郷市戸ヶ崎：1♀，1980.6.19. 三田村敏正. 八潮市鶴ヶ曾根：（1♀），1991.8.15.TU；（多数），1991.8.16.TU；（9♂6♀），1991.8.28.TU.

アオモンイトンボ

岩槻市黒谷（水上公園）：1♂（1♀），1991.8.28.TU [碓井，1991]. 越谷市西新井（県民健康福祉村）：1♂1♀，1991.8.13.TU [碓井，1991]；（1♂），1991.8.15.TU [碓井，1991]. 越谷市増林：1♀，1991.8.28.TU [碓井，1991]. 草加市柿木町（草加公園）：（1♂），1991.8.15.TU [碓井，1991]. 蓼田市貝塚（山ノ神沼）：1♂2♀，1991.8.17.TU [碓井，1991].

クロイトンボ

北本市古市場（北本総合公園）：（13♂），1991.9.3.TU；1♂1♀，1991.9.4.TU. 羽生市三田ヶ谷：（1♂1♀，連結産卵），1989.8.29.TU；1♂（5♂），1991.7.19.TU. 越谷市大林（宮内庁埼玉鴨場）：1♂，1991.8.27.TU；1♀，1991.8.27. 町田文彦. 蓼田市貝塚（山ノ神沼）：（2♀），1991.8.17.TU. 越谷市越ヶ谷（久伊豆神社）：（1♂），1991.7.24.TU. 越谷市増林：1♂，1991.8.28.TU.

オオイトンボ

岩槻市黒谷（水上公園）：2♂，1991.8.16.TU；1♂，1991.8.28.TU. 北川辺町柳生：1♂，1976.7.9. 小林文雄. 越谷市大林（宮内庁埼玉鴨場）：1♂1♀，1991.8.27.TU. 越谷市西新井（県民健康福祉村）：1♂，1991.8.13.TU. 蓼田市貝塚：1♂，1969.8.14. 山崎章. 蓼田市黒浜（黒浜沼）：2♂1♀，1989.8.20.TU. 羽生市三田ヶ谷：2♂，1989.8.29.TU；（3♂），1991.7.19.TU. 三郷市戸ヶ崎：1♀，1972.7.21. 三田村敏正. 八潮市鶴ヶ曾根：（2♂），1991.8.28.TU.

セスジイトンボ

岩槻市黒谷（水上公園）：2♂，1991.8.16.TU [碓井，1991]；2♂，1991.8.28.TU [碓井，1991]. 北本市古市場（北本総合公園）：1♂（1♂），1991.9.3.TU [碓井，1991]；（1♂），1991.9.4.TU [碓井，1991]. 越谷市増林：2♂1♀，1991.8.28.TU [碓井，1991]. 白岡町荒井新田：1♂，1991.8.17.TU [碓井，1991].

ムスジイトンボ

岩槻市黒谷（水上公園）：1♂，1991.8.16.TU [碓井，1991].

モノサシトンボ科

モノサシトンボ

蓼田市貝塚（山ノ神沼）：4♂1♀，1991.8.17.TU.

オオモノサシトンボ

北川辺町柳生：2♂1♀，1976.7.9. 小林文雄；2♂3♀，1976.10.3. 小林文雄. 羽生市三田ヶ谷：1

♂, 1989. 8. 20. TU; 4 ♀, 1989. 8. 29. TU; 1 ♂ 1 ♀, 1991. 7. 19. TU.

アオイトトンボ科

オオアオイトトンボ

久喜市青毛: 1 ♂ (多数), 1991. 6. 16. TU.

カワトンボ科

ハグロトンボ

浦和市南部領辻: (1 ex.), 1991. 7. 7. 鈴木幸.

サナエトンボ科

ミヤマサナエ

本種に関しては、本編に以下 (『』内) のとおり記述した。

『越谷市を流れる元荒川で、近年、本種の羽化を2例観察した、という記述を含む観察記録集を入手しているが、添付された写真を見る限り、写っているサナエは明らかに本種ではなく、次種ナゴヤサナエのようである。ミヤマサナエは、過去、中川水系流域からはまったく記録されたことのない種であることも考え合わせ、この越谷市のミヤマサナエの記録は誤報として扱うこととする。』

本編では、本種に関して以上の記述しかせず、根拠となった“観察記録集”については、参考・引用文献にも含まず、それ以上の言及はしなかったが、本報文では、そのあたりを明示したほうが良いと考え、以下にこの“観察記録集”について述べる。

チョウ・トンボの観察・記録 (第2報) [3年間の記録] 一元荒川河川敷一 鶴岡 保明

これは、越谷市が1990年に市民を対象に募った“越谷市民環境賞”的入選作品で、タイトル通りの内容のレポートがB4用紙でおよそ40枚にまとめられた大作であり、当該地域で観察されたチョウ類23種、トンボ類12種に関して丹念な観察記録を生態写真、あるいは標本写真付きで種毎にまとめるというスタイルをとっている。筆者は、このレポートのコピーを同市役所環境保全課から入手し、本編執筆のための参考資料にするつもりで眺めていたが、レポートされた12種のトンボ類のうち、ミヤマサナエとミヤマアカネの2種の記録に関して疑問をもった。それは、両種とも当該地域では過去にまったく記録がない種であるうえに、添付されている写真 (コピーなので、白黒のコントラストが強いものであったが) から、2種とも別種であろうとの判断ができたからである。

その後、同課に保管されているこのレポートの原本を調べる機会を得、添付されているカラー写真を精査した結果、やはり、ミヤマサナエとされていたものはナゴヤサナエ、ミヤマアカネとされていたものはコフキトンボのオビ型♀であるとの結論を得た。

以上のような経緯から、中川水系のミヤマサナエの記録に関しては、上掲のような記述となったものである。なお、ナゴヤサナエに関しては本調査期間中には中川水系における新たな記録を入手できず、鶴岡氏のレポートも参考資料としなかったので、本報文ではナゴヤサナエは登場してこない。

ウチワヤンマ

岩槻市黒谷 (水上公園) : (3 ♂), 1991. 8. 16. TU. 北本市古市場 (北本総合公園) : (3 ♂), 1991. 9. 3. TU; 1 ♀ (6 ♂), 1991. 9. 4. TU. 越谷市西新井 (県民健康福祉村) : (9 ♂), 1991. 8. 15. TU. 羽生市三田ヶ谷: 1 ♂, 1989. 8. 29. TU.

ヤンマ科

カトリヤンマ

八潮市鶴ヶ曽根 : 1♂1♀ (5 ex.) , 1991. 8. 16. TU ; (8♂1♀) , 1991. 8. 28. TU.

ヤブヤンマ

幸手市中 (相景寺) : 1♀, 1991年夏. 竹園韶秀.

(この記録は、1991年7月18日付け埼玉新聞の報道による。詳しい採集日などは不明。)

クロスジギンヤンマ

川口市西新井宿 : (1 ex. ヤゴ) , 1989. 2. 5. 鈴木幸 ; (1 ex.) , 1989. 5. 1. 鈴木幸. 北川辺町柳生 : (1♂) , 1976. 7. 9. 小林文雄.

ギンヤンマ

岩槻市黒谷 (水上公園) : (1♂) , 1991. 8. 16. TU ; (1♀) , 1991. 8. 28. TU. 北川辺町柳生 : 1♂1♀ (多数) , 1976. 10. 3. 小林文雄. 北本市古市場 (北本総合公園) : (1♂) , 1991. 9. 3. TU ; 1♀ (1♂) , 1991. 9. 4. TU. 鴻巣市常光 (赤堀川) : (2♂) , 1991. 9. 4. TU. 越谷市大林 (宮内庁埼玉鴨場) : (1♂) , 1991. 8. 27. TU. 越谷市西新井 (県民健康福祉村) ; (1 ex.) , 1988. 8. 13. 鈴木幸 ; (3 ex.) , 1991. 8. 15. TU. 越谷市増林 : (2♂1♀) , 1991. 8. 28. TU. 白岡町柴山 (柴山沼) : (1♂) , 1991. 8. 17. TU. 草加市清門 : (1 ex.) , 1991. 8. 16. TU. 羽生市三田ヶ谷 : (4♂) , 1989. 8. 29. TU ; 1♂1♀ (3♂) , 1991. 7. 19. TU. 八潮市鶴ヶ曽根 : (2♂1♀) , 1991. 8. 15. TU ; (2♂) , 1991. 8. 16. TU. 八潮市南川崎 : (3 ex.) , 1991. 8. 15. TU.

オニヤンマ科

オニヤンマ

越谷市大林 (宮内庁埼玉鴨場) : (2 ex.) , 1991. 8. 27. TU.

エゾトンボ科

オオヤマトンボ

北本市古市場 (北本総合公園) : 2♂ (6♂3♀) , 1991. 9. 3. TU ; (4♂1♀) , 1991. 9. 4. TU. 越谷市西新井 (県民健康福祉村) : (1 ex.) , 1991. 6. 29. 鈴木幸. 幸手市松石 (高須賀池) : (1 ex.) , 1991. 7. 18. TU. 白岡町柴山 (柴山沼) : (3 ex.) , 1991. 8. 17. TU. 蓼田市貝塚 (山ノ神沼) : (3♂) , 1991. 8. 17. TU. 羽生市三田ヶ谷 : (2 ex.) , 1989. 8. 20. TU ; (1 ex.) , 1991. 7. 19. TU.

トンボ科

ハラビロトンボ

浦和市南部領辻 : (1 ex.) , 1989. 5. 14. 鈴木幸 ; (1 ex.) , 1990. 5. 6. 鈴木幸.

シオカラトンボ

岩槻市黒谷 (水上公園) : (多数) , 1991. 8. 16. TU ; (8♂1♀) , 1991. 8. 28. TU. 北川辺町柳生 : (多数) , 1976. 7. 9. 小林文雄. 北本市古市場 (北本総合公園) : (7♂2♀) , 1991. 9. 3. TU ; 1♀ (4♂3♀) , 1991. 9. 4. TU. 久喜市清久町 (清久公園) : (2 ex.) , 1991. 6. 16. TU. 鴻巣市常光 (赤堀川) : (2♂) , 1991. 9. 4. TU. 越谷市大林 (宮内庁埼玉鴨場) : (9♂3♀) , 1991. 8. 27. TU. 越谷市越ヶ谷 (久伊豆神社) : (1 ex.) , 1991. 7. 24. TU. 越谷市西新井 (県民健康福祉村) : (2♂2♀) , 1991. 8. 13. TU ; (5♂4♀) , 1991. 8. 15. TU. 越谷市増林 : (10♂5♀) , 1991. 8. 28. TU. 幸手市松石 (高須賀池) : (3♂) , 1991. 7. 18. TU. 白岡町荒井新田 : (多数) : 1991. 8. 17. TU. 白岡町柴山 (柴山

沼) : (2♂) 1991. 8. 17. TU. 草加市柿木町(草加公園) : (多数), 1991. 8. 15. TU. 草加市清門: (7ex.), 1991. 8. 16. TU. 蓼田市貝塚(山ノ神沼) : (多数), 1991. 8. 17. TU. 蓼田市黒浜(黒浜沼) : (1♂), 1989. 8. 20. TU. 羽生市三田ヶ谷: 1♂, 1989. 8. 29. TU; (多数), 1991. 7. 19. TU. 三郷市高須(みさと公園) : (多数), 1991. 8. 15. TU. 八潮市鶴ヶ曽根: (多数), 1991. 8. 15. TU; (多数), 1991. 8. 16. TU; (20♂ 2♀), 1991. 8. 28. TU. 八潮市南川崎: 4♂ 1♀, 1989. 8. 9. TU; (多数), 1991. 8. 15. TU.

シオヤトンボ

浦和市大崎: (1ex.), 1992. 4. 23. 鈴木幸. 浦和市南部領辻: (1ex.), 1989. 5. 14. 鈴木幸. 越谷市西新井(県民健康福祉村) : (1ex.), 1991. 6. 8. 鈴木幸.

オオシオカラトンボ

浦和市大崎: (1ex.), 1991. 10. 5. 鈴木幸. 羽生市三田ヶ谷: (2♂), 1991. 7. 19. TU.

ショウジョウトンボ

越谷市大林(宮内庁埼玉鴨場) : (9♂), 1991. 8. 27. TU. 越谷市西新井(県民健康福祉村) : (1♂), 1991. 6. 8. 鈴木幸. 羽生市三田ヶ谷: (1♂), 1991. 7. 19. TU. 八潮市鶴ヶ曽根: (2♂), 1991. 8. 15. TU.

コフキトンボ

岩槻市黒谷(水上公園) : (3♂ 1♀), 1991. 8. 28. TU. 北川辺町柳生: 1♂ 1♀ (多数), 1976. 10. 3. 小林文雄. 北本市古市場(北本総合公園) : (2♀), 1991. 9. 3. TU. 行田市北河原(北河原沼) : (2♂), 1991. 7. 12. TU. 栗橋町狐塚(内池) : (4♂・1♀オビ型), 1991. 7. 18. TU. 越谷市瓦曾根: (2♂), 1991. 8. 28. TU. 越谷市西新井(県民健康福祉村) : (1ex.), 1988. 7. 30. 鈴木幸; (1♀オビ型), 1991. 6. 29. 鈴木幸; (7ex.), 1991. 8. 13. TU; (7ex.), 1991. 8. 15. TU. 越谷市増林: (1♀), 1991. 8. 28. TU. 幸手市松石(高須賀池) : 1♀, 1991. 7. 18. TU. 白岡町柴山(柴山沼) : (1ex.) : 1991. 8. 17. TU. 草加市柿木町(草加公園) : (3♂), 1991. 8. 15. TU. 羽生市三田ヶ谷: (5♂), 1989. 8. 20. TU; 1♂, 1989. 8. 29. TU; (多数, 4♀オビ型), 1991. 7. 19. TU. 八潮市南川崎: (2ex.), 1991. 8. 15. TU.

ミヤマアカネ

本種に関しては、本編に以下(『』内)のとおり記述した。

『越谷市で本種が数個体観察されている、という記述を含む観察記録集を入手しているが、添付された写真を見る限り、写っているのは本種ではなく、コフキトンボのいわゆるオビ型個体と判断できる。ミヤマアカネは、県内では主に台地から丘陵地にかけて生息し、中川水系流域からはこれまでまったく記録されたことのない種であることも考え合わせ、この越谷市のミヤマアカネの記録は誤報として扱うこととする。』

本編では、本種に関して以上の記述しかせず、根拠となつた“観察記録集”については、参考・引用文献にも含まず、それ以上の言及はしなかつた。このあたりの経緯は、本報文のミヤマサナエの項を参照されたい。

ナツアカネ

北川辺町柳生: 1♂ 1♀ (多数), 1976. 10. 3. 小林文雄. 越谷市大林(宮内庁埼玉鴨場) : 1♂ (11ex.) , 1991. 8. 27. TU. 越谷市増林: (1♀), 1991. 8. 28. TU. 越谷市増林: (1♀), 1991. 8. 28. TU. 草加市柿木町: (1ex.), 1987. 9. 20. 鈴木幸; (1ex.), 1988. 8. 14. 鈴木幸. 蓼田市貝塚(山ノ神沼) : 1♀, 1991. 8. 17. TU. 八潮市鶴ヶ曽根: 1♂, 1991. 8. 16. TU; (2♂), 1991. 8. 28. TU.

アキアカネ

北川辺町柳生: 1♂ 未熟個体, 1976. 7. 9. 小林文雄; (多数), 1976. 10. 3. 小林文雄. 越谷市大林(宮

内庁埼玉鴨場) : 越谷市西新井(県民健康福祉村) : (1 ex.) , 1988. 8. 13. 鈴木幸; (多數, 西北西へ移動), 1991. 6. 25. 鈴木幸; 1♂ (多數), 1991. 8. 27. TU. 草加市柿木町: (1 ex.) , 1987. 7. 12. 鈴木幸; (1 ex.) , 1987. 9. 20. 鈴木幸. 羽生市三田ヶ谷: 1♂ 4♀, 1989. 10. 28. TU. 三郷市戸ヶ崎: 1♀ (未熟個体), 1980. 6. 25. 三田村敏正.

ヒメアカネ

川口市差間: (1 ex.) , 1987. 9. 19. 鈴木幸; (1 ex.) , 1988. 8. 14. 鈴木幸.

マイコアカネ

北川辺町柳生: (多數), 1976. 10. 3. 小林文雄. 越谷市西新井(県民健康福祉村) : (1 ex.) , 1988. 9. 19. 鈴木幸. 羽生市三田ヶ谷: 3♂ 1♀, 1989. 10. 28. TU. 八潮市鶴ヶ曽根: (1 ex. 未熟個体), 1991. 8. 28. TU.

マユタテアカネ

川口市差間: (1 ex.) , 1987. 9. 6. 鈴木幸. 北川辺町柳生: (多數), 1976. 10. 3. 小林文雄. 越谷市大戸(第六天神社) : 2♂, 1989. 10. 28. TU.

リスアカネ

北川辺町柳生: 1♂ 1♀ (多數), 1976. 10. 3. 小林文雄.

ノシメトンボ

北川辺町柳生: (多數), 1976. 10. 3. 小林文雄. 越谷市大林(宮内庁埼玉鴨場) : 1♂, 1991. 8. 27. TU. 越谷市増林: (2♂), 1991. 8. 28. TU. 草加市柿木町: (1 ex.) , 1987. 7. 12. 鈴木幸; (1 ex.) , 1987. 9. 20. 鈴木幸. 蓼田市貝塚(山ノ神沼) : 1♂, 1991. 8. 17. TU. 八潮市鶴ヶ曽根: 1♀, 1991. 8. 16. TU; (3♂), 1991. 8. 28. TU.

コシアキトンボ

岩槻市黒谷(水上公園) : (4♂), 1991. 8. 16. TU; (3♂ 1♀), 1991. 8. 28. TU. 川口市西新井宿: (1 ex.) , 1988. 6. 19. 鈴木幸. 北川辺町柳生: 1♂ 1♀ (多數), 1976. 10. 3. 小林文雄. 北本市古市場(北本総合公園) : (11♂ 3♀), 1991. 9. 3. TU; 1♀ (7♂ 1♀), 1991. 9. 4. TU. 行田市北河原(北河原沼) : (6♂), 1991. 7. 12. TU. 久喜市清久町(清久公園) : (1 ex.) , 1991. 6. 16. TU. 栗橋町狐塚(内池) : (多數), 1991. 7. 18. TU. 越谷市大林(宮内庁埼玉鴨場) : (4 ex.) , 1991. 8. 27. TU. 越谷市越ヶ谷(久伊豆神社) : (19 ex.) , 1991. 7. 24. TU. 越谷市西新井(県民健康福祉村) : (1 ex.) , 1991. 6. 8. 鈴木幸; (6 ex.) , 1991. 8. 15. TU. 幸手市松石(高須賀池) : (4♂), 1991. 7. 18. TU. 白岡町柴山(柴山沼) : (1 ex.) , 1991. 8. 17. TU. 草加市柿木町: (1 ex.) , 1987. 7. 4. 鈴木幸. 草加市柿木町(草加公園) : (3♂), 1991. 8. 15. TU. 蓼田市貝塚(山ノ神沼) : (多數), 1991. 8. 17. TU. 羽生市三田ヶ谷: (1♂), 1989. 8. 20. TU; (6♂ 1♀), 1991. 7. 19. TU.

ウスバキトンボ

岩槻市黒谷(水上公園) : (4 ex.) , 1991. 8. 16. TU; (1 ex.) , 1991. 8. 28. TU. 北本市古市場(北本総合公園) : (6 ex.) , 1991. 9. 3. TU; 1♀ (4 ex.) , 1991. 9. 4. TU. 越谷市大間野: (1 ex.) , 1987. 8. 9. 鈴木幸. 越谷市大林(宮内庁埼玉鴨場) : (3 ex.) , 1991. 8. 27. TU. 越谷市越ヶ谷(久伊豆神社) : (7 ex.) , 1991. 7. 24. TU. 越谷市西新井(県民健康福祉村) : (1 ex.) , 1991. 8. 13. TU; (4 ex.) , 1991. 8. 15. TU. 越谷市増林: (2 ex.) , 1991. 8. 28. TU. 白岡町荒井新田: (6 ex.) : 1991. 8. 17. TU. 草加市柿木町(草加公園) : (4 ex.) , 1991. 8. 15. TU. 蓼田市貝塚(山ノ神沼): (多數), 1991. 8. 17. TU. 羽生市三田ヶ谷: (4 ex.) , 1991. 7. 19. TU. 八潮市鶴ヶ曽根: (6 ex.) , 1991. 8. 15. TU; (4 ex. 1羽化殻), 1991. 8. 16. TU; (1 ex.) , 1991. 8. 28. TU. 八潮市南川崎: (多數), 1991. 8. 15. TU.

チョウトンボ

越谷市西新井(県民健康福祉村) : (1 ex.) , 1988. 8. 20. 鈴木幸; (1 ex.) , 1991. 8. 15. TU. 白岡町

荒井新田： (1 ex.) : 1991. 8. 17. TU. 八潮市鶴ヶ曽根： (1 ex.) , 1991. 8. 16. TU.

参考・引用文献

- 上尾市・(財)埼玉県野鳥の会, 1991. 上尾市植物動物調査報告書. 上尾市.
- 新井 裕, 1981. 埼玉県のトンボ3種の記録. 寄せ蛾記, (34) : 327.
- 新井 裕, 1982. 埼玉県トンボ観察記. 自刊.
- 新井 裕, 1991. 埼玉県におけるムスジイトトンボの初記録. 寄せ蛾記, (61) : 1174.
- 石田 昇三 他, 1988. 日本産トンボ幼虫・成虫検索図説. 東海大学出版会.
- 岩槻市役所市史編さん室, 1985. 岩槻市史, 通史編. 岩槻市.
- 碓井 徹, 1991. 埼玉県では記録の少ないイトトンボ科5種の記録. 寄せ蛾記, (61) : 1176-1177.
- 大宮市教育委員会, 1980. 大宮市文化財調査報告 第14集, 深作沼動植物調査報告. 大宮市.
- 大熊 光治, 1979. 埼玉県岩槻市慈恩寺沼付近のトンボ. 昆虫と自然, 14(8) : 12.
- 環境庁編, 1991. 日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック (無脊椎動物編). 日本野生生物研究センター.
- 北本市教育委員会市史編さん室, 1990. 北本市史, 第3巻上 (自然・原始資料編). 北本市.
- 久喜市史編さん室, 1989. 久喜市史調査報告書 第14集, 久喜市の動・植物 (I)(II). 久喜市.
- 越谷市・(財)埼玉県野鳥の会, 1986. 越谷市環境保全区域指定調査報告書. 越谷市.
- 草加市・(財)埼玉県野鳥の会, 1987.
- 草加市 野鳥・植生調査報告書〈哺乳類・両生爬虫類・魚類・昆虫〉. 草加市.
- 草加市史編さん委員会, 1988. 草加市史, 自然・考古編. 草加市.
- 長須 房次郎, 1973. 埼玉のトンボ. 埼玉県動物誌仮目録(3), pp. 3-31. 埼玉県教育委員会.
- 長須 房次郎, 1978. 埼玉のトンボ類. 埼玉県動物誌, pp. 403-432. 埼玉県教育委員会.
- 長須 房次郎, 1982a. 埼玉の昆虫標本展に出品した埼玉県産のトンボについて. 寄せ蛾記, (37) : 396-401.
- 長須 房次郎, 1982b. 岩槻市のトンボについて. 寄せ蛾記, (38) : 425-430.
- 長須 房次郎, 1986a. 埼玉県蓮田市のオオモノサントンボ. インセクト, 37(1) : 29.
- 長須 房次郎, 1986b. 久喜市のホソミオツネントンボについて. インセクト, 37(1) : 29-30.
- 浜田 康・井上 清, 1985. 日本産トンボ大図鑑. 講談社.
- 三田村 敏正, 1980. 埼玉県で発見されたヒヌマイトトンボについて. 翅脈, (1) : 46-49.
- 三田村 敏正, 1981a. 埼玉県でヒヌマイトトンボを発見. TOMB0, 23(1/4) : 33.
- 三田村 敏正, 1981b. 埼玉県三郷市の蜻蛉, 翅脈, (2) : 29-31.
- 三田村 敏正, 1981c. 埼玉県のヒヌマイトトンボ ~1981年の調査報告~. 翅脈, (2) : 32.
- 三田村 敏正, 1986. 埼玉県のヒヌマイトトンボ再調査を!. 翅脈, (3) : 18.
- 八潮市・(財)埼玉県野鳥の会, 1989. 八潮市自然環境保全創造計画策定調査《報告書》. 八潮市.
- 八潮市市史編さん室, 1986. 八潮市史, 自然編. 八潮市.

【文献に関する付記】

『中川水系 中川水系総合調査報告書1—総論・自然編—』

B5版, 659pp. 8pls. 1別冊. 1993年2月10日, 埼玉県.

前述した通り, 当地域のトンボ相に関する具体的な採集データや, 新しい知見は含んでいない。

『写真集 中川水系』

A4版 243pp. 写真688枚, 一部白黒写真. 1992年3月19日, 埼玉県.

トンボ類に関しては, 成虫9種, ヤゴ2種が掲載されており, 成虫の生態写真は筆者撮影。この写真集は, 各写真についての解説文が非常に短く制限されてしまったため, 本会会員であり, 本調査において膜翅類の調査を担当された南部敏明氏の呼びかけにより, “埼玉動物研通信”に各調査員が担当した写真の解説文を寄せたが, 筆者担当のトンボ類に関しては, 以下のとおり。各種の一般的な解説が中心で, 撮影データは記されていない。

碓井徹, 1992. 『写真集中川水系』の写真の説明について 一水生昆虫一.

埼玉動物研通信, (10) : 22-23.

(うすい とおる 〒362 上尾市壱丁目 454-3)



ムモンアカシジミの採集記録

石塚正彦

昨年(1992年)の小倉沢の採集記録につづき, 本年も大滝村上中尾で本種を採集しているので報告する。同時に本種の大滝村での未発表記録もあるので今回あわせて報告する。

1987年8月1日	1♀	秩父郡大滝村川俣
1987年8月5日	2♀	秩父郡大滝村川俣
1988年8月14日	1♀	秩父郡大滝村川俣
1993年8月13日	1♀	秩父郡大滝村三峰山
1993年8月29日	1♀	秩父郡大滝村上中尾

上中尾での採集地点は, スギ林の山の斜面を国道が通っており, 筆者が車でそこを通り掛かったとき, 道端の高さ1.5m位の所を本種がヒラヒラと飛んでいた。付近は全くのスギ林であり, 本種が棲息しそうな環境は見当らなかった。しかし筆者が過去最も多くの本種を目撃, 採集している川俣でも活動を始める最初の時間帯は, ホストと思われるミズナラの付近を飛び回っているが, そのうち近くのカラマツやスギ林の方向へ好んで飛び散っていくような行動を2, 3回観察しているので, 今回の採集場所もそのような状況に関係あるのかもしれない。

(いしづかまさひこ 〒368 秩父市上町 1-1-17)

.....

ミドリシジミ雌の多型現象の謎…その2

萩原昇

1. はじめに

ミドリシジミの雌は黒褐色の地に橙色や藍色の斑紋を持つ型と斑紋を持たない型があります。雌の翅に現れる斑紋については遺伝すると古くから考えられています。1951～1953年に国立遺伝学研究所の駒井卓博士は「新昆虫」誌に「蝶の遺伝」という連載記事を載せました。その中で、ミドリシジミの雌の4つ型は、ヒトの血液型と同じ遺伝的基礎によって遺伝するという考え方を発表しました。しかし、この考えは、実際の交配実験によって証明されたものではありませんでした。当然、駒井博士もこの事を必要性を知っていましたが、ミドリシジミの交配実験をすることは技術的に大変に難しいため、今日まで確かめられないまま、課題として残されています。

筆者は、この謎の解明に一步でも近付ければとミドリシジミの雌を野外で採集し、強制産卵させた卵を飼育し、羽化した雌の型を調べました。なお、①のB型からの報告は、寄せ蛾記65号、p.1405に掲載したものをまとめたものです。

2. 飼育実験の結果

① B型からは

筆者が1991年7月1日に蓮田市大字黒浜の黒浜西中学校の校庭で採集したB型の1個体の雌から強制産卵によって48個の卵を産ませて、それを飼育した結果、次の表のような結果になりました。

48個の卵から40個体の成虫が羽化しました。

(8個体は、軟腐病のために死亡)

雄 20個体 女 20個体

雌の型	A型	B型	AB型	O型
個体数	0	16	2	2

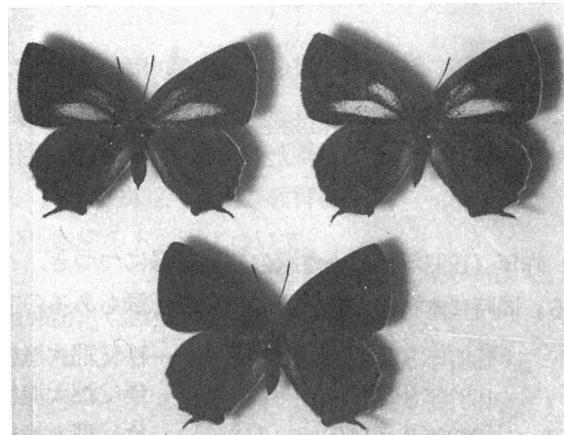


写真1 B型より飼育した個体

② AB型からは

萩原が1992年7月3日に伊奈町の伊奈氏屋敷跡付近で採集したAB型の1個体の雌から、強制産卵によって43個の卵を産ませて、それを飼育した結果、次のようになりました。

<卵について> 鉢植えのハンノキに網をかけ、母蝶を放して産卵させた。鉢を野外に放置して、自然状態で越冬させた。

<幼虫について> 卵は野外で自然に孵化させたところ、100%が孵化した。2令幼虫になってから、ハンノキを室内に入れた。そして、4令幼虫になってからは、5個体ずつプラスチック容器に入れて飼育した。

＜蛹について＞ 蛹をダンボールの羽化箱に入れ、羽化をまった。

＜羽化した成虫について＞

43個の卵から43個体の成虫が羽化しました。

雄 19個体 雌 24体

雌の型	A型	B型	A B型	O型
個体数	5	7	5	7

③ このほか、A型の1個体の雌からA型とO型が、O型の1個体の雌からA型とO型が羽化しました。同様に、伊奈町の氷室氏が飼育した結果、B型からA B型とB型が羽化したということです。

また、松戸市の松井氏の報告によるとO型の雌の卵から出現した幼虫を低温処理したところ、B型とA B型が羽化したそうです。

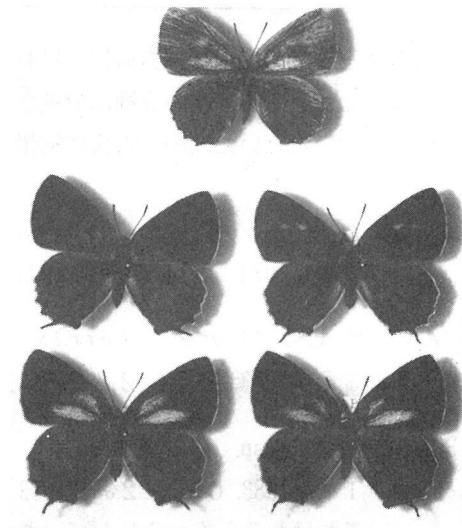


写真2 A B型より飼育した個体
(上段の個体が母蝶)

4. まとめ

このように飼育結果と、遺伝学的な理論の間にはかなりの隔たりがあるようです。また、雌の多型現象を従来のABO式で分類するに無理があるようです。例えば、写真3に示すようにA型の橙色斑紋の現れ方に、O型からA型につながる連続変化がみられます。また、B型についても、写真4に示すように同様の連続変化がみられます。

この問題は、調べれば調べるほどに謎が深まり、今後が楽しみな研究課題です。

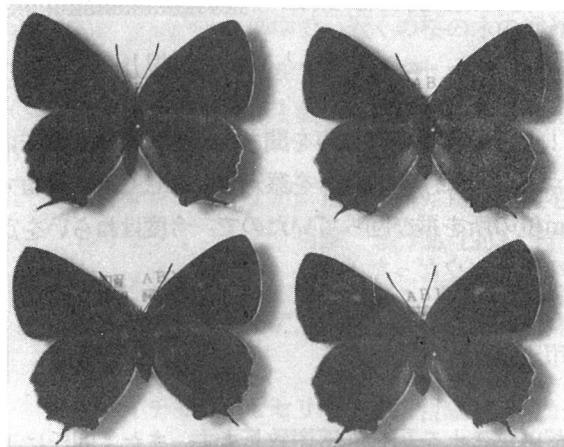


写真3

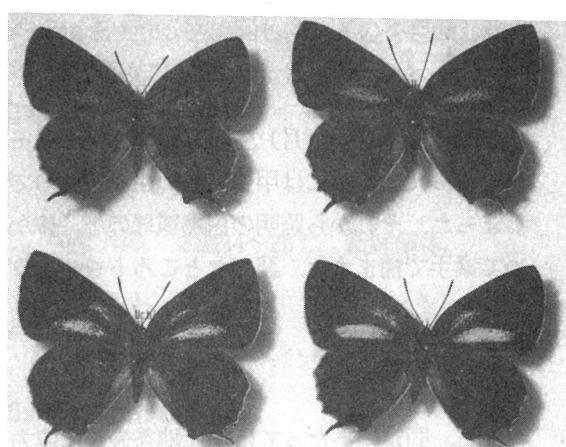


写真4
(はぎわら のぼる 番344 春日部市梅田 614-1)

所沢市三ヶ島産ヒシバッタについて

牧林功

所沢市三ヶ島の昆虫類調査報告*において、筆者はヒシバッタ多數を記録した。その標本を内田正吉氏に提供したところ、次の3種に分割されることがわかったので訂正する。

同定していただいた内田正吉氏に感謝する。

1. コバネヒシバッタ *Formosatetrix larvatus*

1♀；1984. 4. 14, 1♀；1983. 7. 19.

2. ハラヒシバッタ *Tetrix japonica*

1♀；1983. 6. 5, 2♀1♂；1983. 7. 19, 5♀6♂；1983. 8. 5, 2♀；1983. 9. 3.

3. *Tetrix* sp.

1♂；1983. 6. 5, 2♂；1983. 8. 5, 4♂；1983. 9. 3.

これはおそらくハラヒシバッタ *Tetrix japonica* であろうが、前胸背板が後方へ伸び（1～2mmほど腹端を越えている）、側隆線もはっきりしている。ヤセヒシバッタ *T. sp.* の♂に似ているが、とりあえず別種として分けておくという。

* 寄せ蛾記 増補第2号（1984）

（まきばやし いさお 〒330 大宮市天沼町 2-864）

トウキョウヒメハンミョウが夜わが家に

利根川 雅実

1993年8月2日（月）午後9時頃、「キャー虫！！」という妻の叫び声を聞き、指差す板敷きの床に目をやった。そこには甲虫らしい虫がいたので採ろうとしたが、手の動きを察知したらしく飛び跳ねてしまった。それから照明の白熱電球の下、床から1m位の所を飛び回っていたので、今度はねらいを定めて素手で捕まえた。調べたところトウキョウヒメハンミョウだった。

トウキョウヒメハンミョウ 2-VII-1993, 浦和市三室

なお、同定にあたっては築比地秀夫氏に協力いただいたことを記し、感謝致します。また、同氏によれば見沼の調査においても数種のハンミョウが夜間採集の幕に来たとのことだ。

（とねがわ まさみ 〒336 浦和市三室 3471-1）

秩父市久那でモンキアゲハ目撃

齊藤 洋一

1993年5月4日午後2時頃、秩父市久那にて、眼前を横切るモンキアゲハ春型 1ex. を目撃したので報告する。新鮮な個体だった。

(さいとう よういち 〒132 東京都江戸川区平井 5-26-12)

自宅周辺で、採集・目撃したチョウ

森中 定治

表題について報告する。

アゲハチョウ科

カラスアゲハ 幼虫6個体 10. Oct. 1993. 自宅のカラスザンショウにて、2~4令。

クロアゲハ 幼虫1個体 10. Oct. 1993. 自宅のカラスザンショウにて、終齢。

タテハチョウ科

コムラサキ 1♀, 目撃 Aug. 1990. 自宅から50m地点、伝佑川の藤久橋の下へ流れ込む支流の柳を旋回。

ミドリヒョウモン 1♀, 目撃 Aug. 1990. 東川口駅周辺。

スミナガシ 1♂, 目撃 10. Oct. 1993. 草加市北谷。

みのべ幼稚園で息子 翔太郎の運動会に参加したおり、12:30pm. 気温26°Cの状況の中で、近くの桜の木の周り地上約2mを4~5回旋回しているのを目撃した。

(ルリタテハやヒオドシチョウとは、誤同定なし。家族全員目撃)

ヒメアカタテハ 1個体、目撃 10. Oct. 1993. 自宅にて。

シジミチョウ科

ゴイシシジミ 1♂, 目撃 May. 1985. 自宅にて。

ルリシジミ 1♂, 目撃 3. Jun. 1993. 自宅にて。午後3時、気温24~26°C、新鮮個体。

ジャノメチョウ科

ヒカゲチョウ 1♂, 採集 26. Aug. 1993. 自宅にて。

セセリチョウ科

ギンイチモンジセセリ 1♂, 目撃 自宅から100mの宅地造成地にて。

(もりなか さだはる 〒333 川口市戸塚鉄町 11-20)

寄せ蛾記 69号 目次

牧林 功：お別れの言葉	1515
松崎 雄一：埼玉県蜻蛉目調査（1）	1516-1527
内田 正吉：埼玉県におけるイナゴモドキの採集記録	1527
記野直人・長谷川洋：北本市石戸宿で採集した甲虫類（2）	1528-1533
西田 彰：埼玉県下におけるトンボ類の採集記録（1）	1534-1538
西田 彰：北本市石戸宿でのミルンヤンマの採集記録	1538
石塚 正彦：秩父のカラスシジミ	1539-1542
碓井 徹：中川水系総合調査で得られたトンボ類の記録	1543-1551
石塚 正彦：ムモンアカシジミの採集記録	1551
萩原 昇：ミドリシジミ雌の多型現象の謎…その2	1552-1553
牧林 功：所沢市三ヶ島産ヒシバッタについて	1554
利根川 雅実：トウキョウヒメハンミョウが夜わが家に	1554
斎藤 洋一：秩父市久那でモンキアゲハ目撃	1555
森中 定治：自宅付近で、採集・目撃したチョウ	1555
：会報	1556
：編集後記	1556
：会員名簿の訂正と追加（付録、ページ数なし）	

（埼玉昆虫談話会、1993年10月25日 発行）